

球磨川水系河川維持管理計画

令和 7 年 3 月

九州地方整備局
八代河川国道事務所

まえがき

河川は、水源から山間部、農村部、都市部を流下し海に至る間において、それぞれ異なる地域特性を有している。また、土砂の移動や植生の変化等によって長期的に変化していくが、その変化は必ずしも一様なものではなく、洪水や渇水等の流況変化によって、時には急激に変化するという特性を有する。

さらに、河川の主たる管理対象施設である堤防は、延長が極めて長い線的構造物であり、一部の決壊によって一連区間全体の治水機能を喪失してしまうという性格を持ち、原則として土で作られているため材料品質が不均一であるという性格も有している。

上記のように河川は自然の作用等によって常に変化することから、堤防等の施設の整備や河道の掘削を実施しても、その維持管理が十分に行われなければ、年月を経るにしたがって、堤防等の施設の脆弱化や老朽化、河道の洗掘・土砂堆積・樹林化が進行するなど、洪水を安全に流下させることが困難となる。したがって平素から、河道や堤防等の施設を良好な状態に保全し、その本来の機能が発揮されるように計画的に維持管理する必要がある。

河川維持管理の目的は、上記に記述する洪水等に対する安全性の確保のほかに、安定した水利用の確保、河川環境の保全、適正な河川の利用の促進など多岐にわたっており、具体的な維持管理行為は、河道の流下能力の維持、堤防等の施設の機能維持、河川区域等の適正な利用、河川環境の整備と保全等に関して設定する「河川維持管理目標」が達せられるよう、河川の状態把握を行い、その結果に応じて対策を実施することが基本となる。

また、持続可能な維持管理を行っていくためには、効率化・高度化のための技術開発、コスト縮減、DX（デジタルトランスフォーメーション）等への取り組みが必要である。

この河川維持管理計画は、長年の経験等に培われて実施されてきた河川維持管理の適確性と効率性の向上を図りつつ、河川整備計画に沿った計画的な維持管理実施するために、河川維持管理の具体的な内容を定めたものであり、計画の対象期間は概ね5年間としている。

なお、本計画は、河川の状態変化の把握とその分析・評価の繰り返し、河川維持管理の実績、出水等の履歴、他河川での経験等による知見の蓄積のほか、社会経済情勢の変化等に応じて、PDCAサイクルの体系に基づき適宜見直しを行う。

目次

1. 河川の概要	p 4
1. 1 河川及び流域の諸元	
1. 2 流域の自然的、社会的特性	
1. 3 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況	
1. 4 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況	
1. 5 生物や水量・水質、景観、河川空間の利用等管理上留意すべき環境の状況	
1. 6 地域との連携及び河川愛護活動の状況	
2. 河川維持管理上留意すべき事項	p 14
2. 1 下流部 (0.0km～9.0km、前川、南川)	
2. 2 中流部 (9.0km～52.4km)	
2. 3 人吉区間 (52.4km～64.6km)	
2. 4 上流部 (64.6km～91.8km、川辺川)	
3. 河川の区間区分	p 16
4. 河川維持管理目標	p 17
4. 1 要注意箇所	
4. 2 河川維持管理目標	
4. 2. 1 河道の流下能力の維持	
4. 2. 2 施設の機能維持	
4. 2. 3 河川区域等の適正な利用	
4. 2. 4 河川環境の整備と保全	
5. 河川の状態把握	p 22
5. 1 基本データの収集	
5. 1. 1 水文・水理等観測	
5. 1. 2 測量	
5. 1. 3 河道の基本データ	
5. 1. 4 河川環境の基本データ	
5. 1. 5 観測施設、機器の点検	

5. 2	堤防点検等のための環境整備	
5. 3	河川巡視	
5. 3. 1	平常時の河川巡視	
5. 3. 2	出水時の河川巡視	
5. 4	点検	
5. 4. 1	出水期前、台風期、出水後の点検	
5. 4. 2	地震後の点検	
5. 4. 3	親水施設等の点検	
5. 4. 4	その他の土木・建築施設の点検	
5. 4. 5	機械設備・電気通信施設を伴う河川管理施設の点検	
5. 4. 6	樋門等構造物周辺堤防の詳細点検	
5. 4. 7	許可工作物の点検	
5. 5	河川カルテ	
5. 6	河川の状態把握の分析、評価	
6.	具体的な維持管理対策	p 33
7.	地域連携等	p 35
8.	効率化・改善に向けた取り組み	p 37
	関連基準等	p 39
	付図・付表	p 40

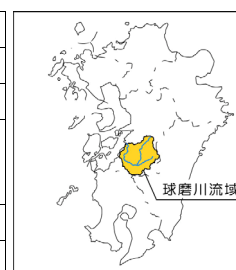
1. 河川の概要

1. 1 河川及び流域の諸元

球磨川は、その源を熊本県球磨郡銚子笠(標高 1,489m)に発し、免田川、小さで川、川辺川、山田川、万江川等を合わせつつ人吉(球磨)盆地をほぼ西に向かって貫流し、さらに流向を北に転じながら山間の狭窄部を流下し、八代平野に出て、前川、南川を分派して不知火海(八代海)に注ぐ、幹川流路延長 115km、流域面積 1,880km² の一級河川である。管理区間は、球磨川本川の河口から幸野ダムまでの区間、及び支川川辺川と五木小川の一部、派川前川及び南川の延長 118.3km 区間を管理している。



区分	概要
幹川流路延長	115km
流域面積	1,880km ² (山地等84%、農地6%、宅地その他10%)
流域内市町村	八代市、人吉市、えびの市、伊佐市、芦北町、 錦町、多良木町、湯前町、あさぎり町、水上村、 相良村、五木村、山江村、球磨村
流域内人口	約12万人 (平成27年現在)
支川数	81



1. 2 流域の自然的、社会的特性

球磨川の流域は、主に熊本県南部に位置し、宮崎県及び鹿児島県を合わせた九州南部 3 県にまたがる 4 市 5 町 5 村で熊本県土の約 4 分の 1 を占めている。流域の関係市町村の人口は、昭和 55 年(1980 年)の約 30 万人(高齢化率 11.6%)から、令和 2 年(2020 年)の約 22 万人(高齢化率 36.8%)と推移している。また、流域の土地利用は、山地等が約 84%、水田や果樹園等の農地が約 6%、宅地等の市街地が約 10%となっており、下流の八代平野では米・イ草の二毛作が盛んに行われ、近年はハウス栽培も盛んでトマトの生産高は全国有数となっている。上流部には肥沃な穀倉地帯が形成されている。

沿川には JR 肥薩線、鹿児島本線(九州新幹線)、九州縦貫自動車道、国道 3 号、219 号等の基幹交通施設が存在し、下流部には、熊本県内で人口が 2 番目に多い八代市があり、上流部には、球磨地方の主要都市である人吉市があるなど、熊本県南部の社会・経済・文化の基盤を成している。

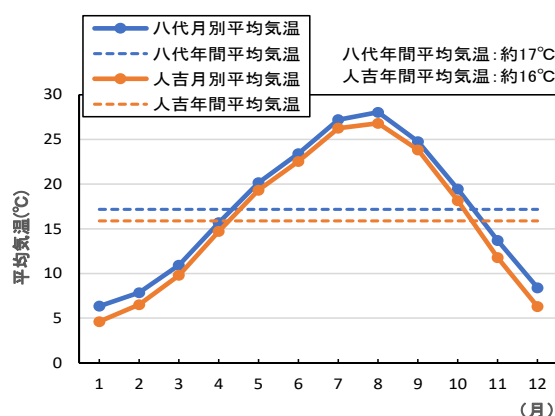
また、球磨川の河川水を利用して肥沃な穀倉地帯が形成されていること、球磨川くんだり地域観光のシンボルとなっていること、川沿いを走る JR 肥薩線やくま川鉄道は

球磨川と一体となった景観を形成していることなど、古くから人々の生活、文化と深い結びつきを持っている。近年も、沿川都市では球磨川の存在を考慮した都市計画マスタープランを策定するなど、球磨川と深い関わりを持ったまちづくりが進められている。

さらに、尺アユと呼ばれる大型のアユをはじめとする多様な生物を育む豊かな自然環境に恵まれていることから、本水系の治水・利水・環境についての意義は極めて大きいものとなっている。

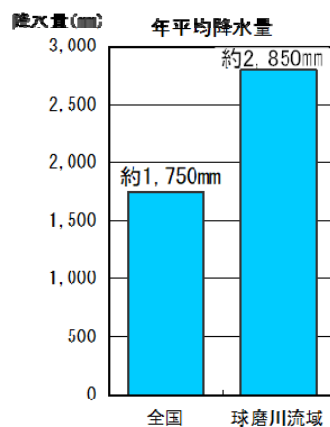
流域の気候は、太平洋側気候に属し、年平均気温は 16～17℃、年平均降水量は約 2,850 mmで、日本の年平均降水量約 1,750 mmと比べると約 1.6 倍となっている。なお、年平均降水量の約 4 割が 6～7 月の梅雨期に集中している。

また、流域内の降雨分布をみると、上流の山地部にいくほど降水量が多くなっており、源流付近では年平均降水量 3,000mm を超える降水量となっている。



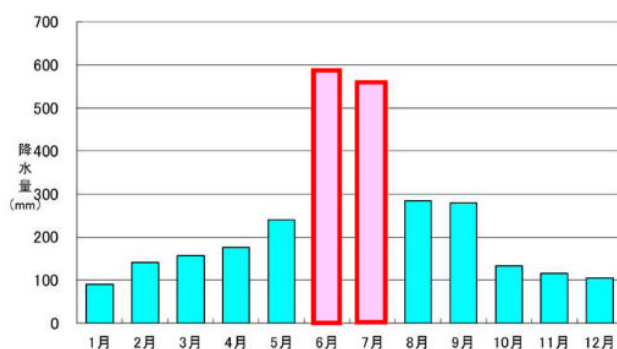
代表地点の月平均気温

注：2001～2020 年平均値



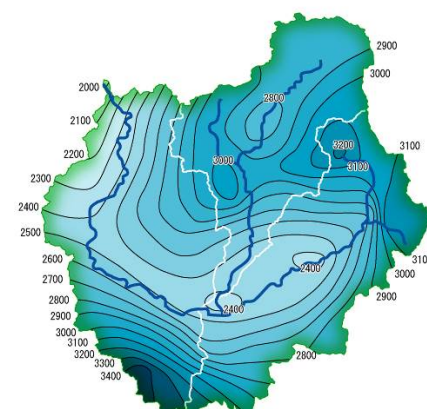
平均降水量の比較

注：2001～2020 年平均値



流域内平均月別降水量

注：2001～2020 年平均値



流域内年平均降雨分布図

注：2001～2020 年平均値

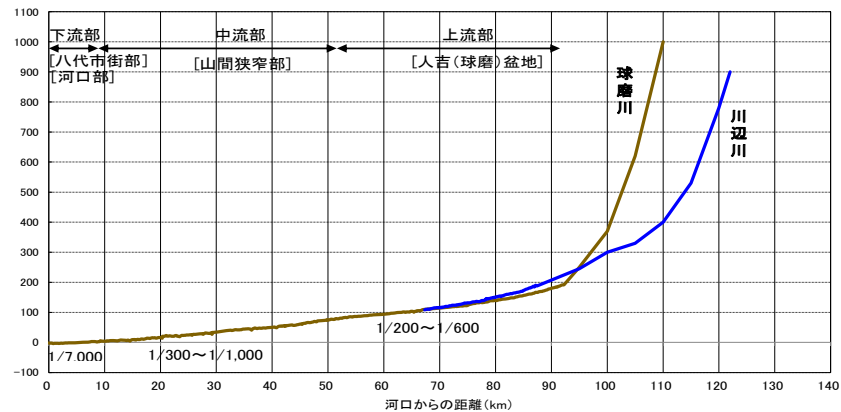
球磨川流域は、梅雨前線が停滞しやすく、流域全域で長期的に降り続く傾向にある。また、短時間降雨・総雨量も多い傾向にある。台風の北上に伴う降雨は、九州山地に接する球磨川上流域で降雨が多い傾向にある。特に九州の西岸を北上した場合、短時間降雨・総雨量とも多く、その一方、九州の東岸を北上した場合は比較的少ない傾向にある。

1. 3 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況

(1) 河道特性

球磨川流域は台風及び梅雨前線による大雨が降りやすい南九州の多雨地域に位置している一方、流域の地形上、急峻な山々に囲まれ、多くの急流支川が八代（球磨）盆地に流入し、山地部に降った雨がすり鉢状の盆地に集まる地形となっていることから、古来より繰り返し洪水被害が生じている。

球磨川は日本三急流の一つに数えられ、市房ダムから渡地点に至るまでの上流部の河床勾配については、周囲を急峻な山々に囲まれた八代（球磨）盆地が形成されており、盆地ではあるものの $1/200 \sim 1/600$ 程度の急勾配となっている。渡地点から遙拝堰に至る中流部の山間狭窄部の河床勾配についても $1/300 \sim 1/1,000$ 程度と急勾配となっており、遙拝堰から河口に至る下流部は干拓で広がった八代平野を貫流し、その間の河床勾配は $1/7,000$ 程度となっている。



球磨川水系河床勾配縦断図

※上記縦断図は河川定期縦横断測量及び航空レーザーで計測した地盤高を基に図化したもの

(2) 被災履歴

球磨川流域では、梅雨期に梅雨前線が停滞して流域各地で長期的に降り続く傾向があり、昭和 40 年（1965 年）、昭和 57 年（1982 年）など過去の大きな洪水の多くは前線性の降雨に起因して発生している。また、九州の西岸を台風が北上した場合などにも、多量の降雨により大きな洪水が発生することがある。戦後発生した主要な洪水をみると、台風性・前線性が概ね半々であり、近年では平成 16 年（2004 年）、平成 17 年（2005 年）、平成 18 年（2006 年）、平成 20 年（2008 年）、令和 2 年（2020 年）と大きな洪水が頻発しているが、このうち平成 16 年、平成 17 年は台風性、平成 18 年、平成 20 年や流域に甚大な被害をもたらした令和 2 年 7 月豪雨は、前線性の降雨に起因したものであった。

特に令和 2 年 7 月洪水では、令和 2 年（2020 年）7 月 3 日から、停滞する梅雨前線上に形成された低気圧に向かい、非常に湿った空気が流れ込み大量の水蒸気が流入したことで、流域の大部分にかかる大型の線状降水帯が発生し、さらに、およそ 13 時間にわたり停滞したことにより記録的な総雨量をもたらした。球磨川本川の中流部から上流部、支川川辺川の雨量観測所において観測開始以来最大の雨量を観測し、河川整備基本方針の計画降雨量（人吉上流域 262mm/12 時間、横石上流域 261mm/12 時間）を超える雨量（人吉上流域 322mm/12 時間、横石上流域 346mm/12 時間）を確認した。



昭和 40 年 7 月洪水による人吉市街地の
浸水状況（人吉市）



昭和 40 年 7 月洪水による球磨川下流部の
被災状況（八代市）



昭和 57 年 7 月洪水による織月大橋下流の氾濫状況（人吉市）



令和 2 年 7 月洪水による人吉市街地の
氾濫状況（人吉市）

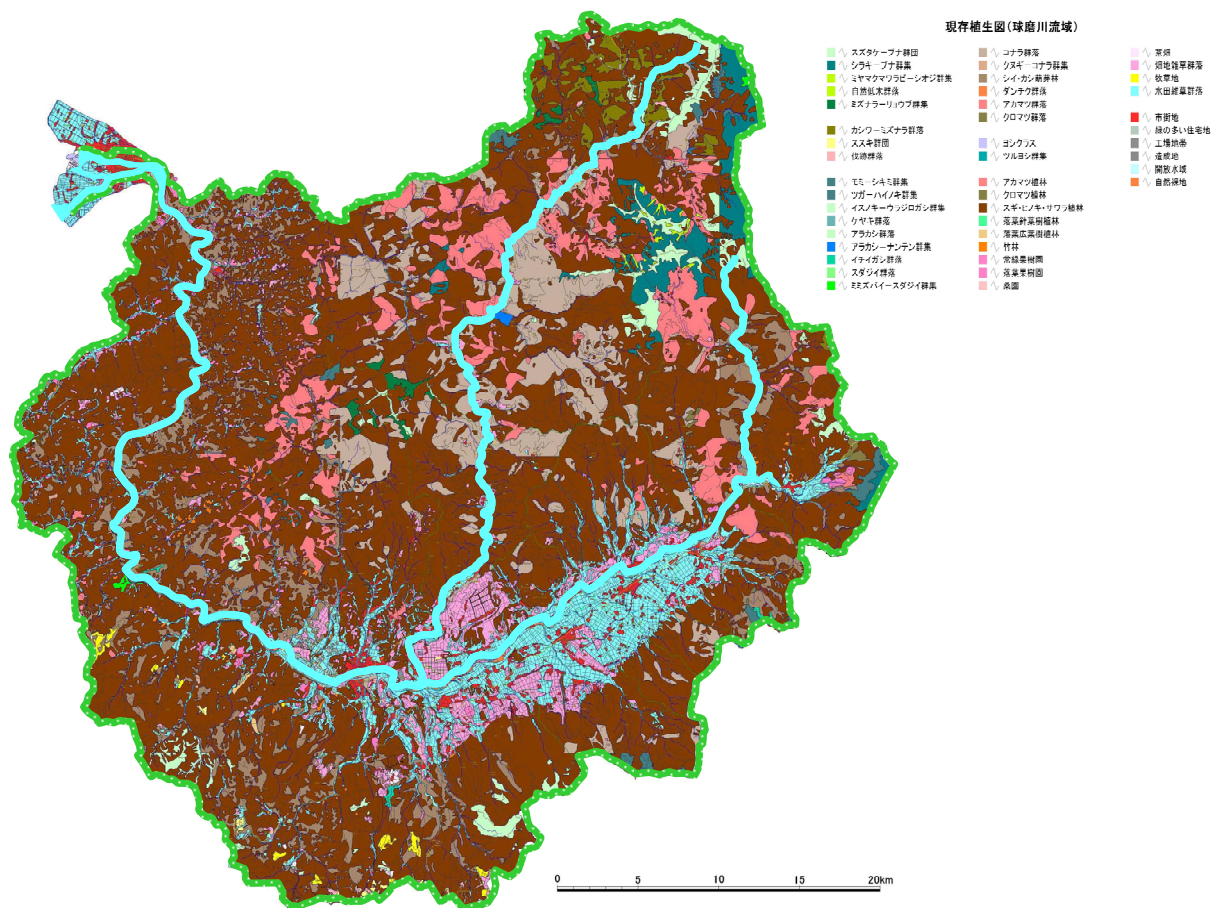


令和 2 年 7 月洪水による球磨川下流部の
氾濫状況（八代市坂本地区）

(3) 流域の地形及び地質

球磨川及び川辺川の上流域は、九州山地に位置し、周囲の急峻な山々に降った雨がすり鉢状の盆地に集まる地形となっている。また、干拓で広がった八代平野はゼロメートル地帯となっている。

また、球磨村渡地区より上流の流域面積が、球磨川全体の流域面積の約 8 割を占めることから令和 2 年 7 月豪雨時のような南北にも幅の広い大型の線状降水帯が形成され、その雨域が球磨川上流域にかかった場合、支川から流出水が盆地部に集中して大規模な災害が再び発生するおそれがある。

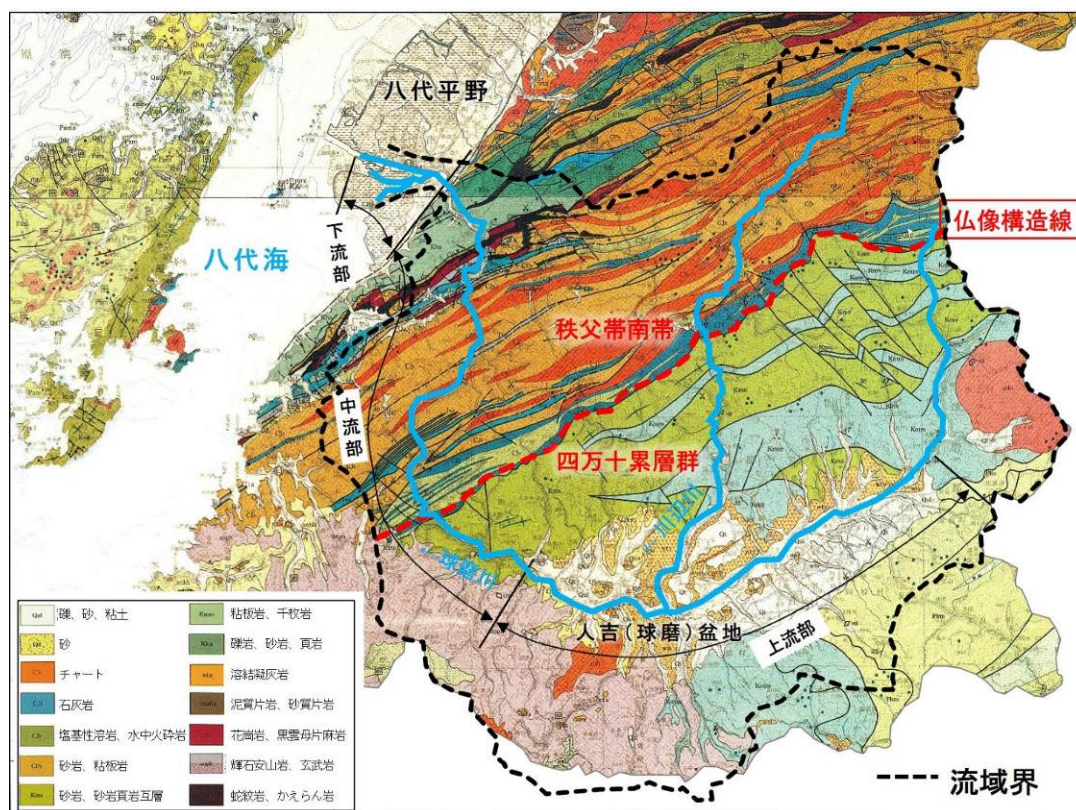


球磨川流域植生図

引用：「第 2 回～5 回自然環境保全基礎調査における現存植生の分布」
自然環境情報 GIS 第 2 版（環境庁平成 11 年（1999 年））

流域の地質は、銚子笠から球磨川中流部の大坂間を結ぶ仏像構造線が位置しており、これを境に、北側は秩父帯南帯と呼ばれ、中・古生代の砂岩、粘板岩等からなっており、その南縁部に石灰岩が分布している。構造線南側は四十万累層群と称される中生代の砂岩、粘板岩等が人吉（球磨）盆地を除いて広く分布しており、盆地部には河川の氾濫や火砕流による堆積物が存在している。

また、人吉地区には、脆弱なシルト岩が主体で強度が低く、乾湿等の変化にも弱い特性がある「人吉層」と呼ばれる軟岩が分布しており、下流八代平野部には沖積層が厚く堆積している。



球磨川流域地質平面図

出典：九州地方土木地質図（20 万分の 1）
（（財）国土開発技術センター）昭和 60 年（1985 年）

1. 4 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況

令和 2 年 7 月豪雨では、上流での山腹崩壊等により河道内に大量の土砂や流木が堆積するとともに、氾濫水に含まれた土砂等が道路や宅地などにも堆積した。

また、荒瀬ダムの撤去に伴い、荒瀬ダム上流の堆積土砂が下流河道へ流下したことによる河床変動が確認されている。その後は、経年的な土砂移動により荒瀬ダム建設前と同様の砂州が形成されつつある。

令和 2 年 7 月豪雨による影響、砂利採取、荒瀬ダム撤去等の影響を除き、これまで河床の大きな変動は確認されていないが、今後、流下能力が不足する区間については河道掘削を行うことから、総合的な土砂管理の観点から河床材料や河床高等の経年的変化等の定量的な把握や、河道の著しい侵食や堆積に対する適切な維持に努めるとともに、土砂動態と生物の生息環境等に関する調査・研究や必要な対策について関係機関と連携を図る必要がある。

1. 5 生物や水量・水質、景観、河川空間の利用等管理上留意すべき環境の状況

(1) 生物

上流部は人吉（球磨）盆地の田園地帯を蛇行しながら流下し、人吉市街部を貫流する。水際にはオギ、ツルヨシ群落が、高水敷にはヤナギ林が分布し、イカルチドリ、カヤネズミ、コムラサキ等多様な動物が生息している。また、南九州独特の野イバラ

であるツクシイバラが生育し、世界最大の自生地となっている。瀬にはアユ、オイカワ、カゲロウ類等が生息している。また、一部ワンドが形成され、タナゴ類、ミナミメダカ、トンボ類等が生息している。

中流部は山間狭窄部で急流となっており、川岸は巨岩・奇岩が連なり、瀬と淵が連続して交互に出現している。水際の礫河原には、ツルヨシ群落分布しており、河岸にはエノキ、アラカシ等の高木林（広葉樹）が分布している。瀬にはアユ、オイカワ、カゲロウ類、淵にはカワムツ、カマツカ等が生息し、河原にはイカルチドリ、カワラゴミムシ、ツマグロキチョウ等が生息している。高木林はヒヨドリやサギ類のねぐら、繁殖の場となっている。また、当区間では瀬戸石ダムが約 10 km に及ぶ湛水域を形成しており、コイ科の魚種等が生息している。

下流部は八代平野が広がり八代市街部を貫流している区間であり、良好な瀬の再生を目的として整備した「八の字堰」周辺は、アユ等の回遊性魚類の重要な生息・産卵の場となっており、そのほか、オイカワ、オオヨシノボリ、ナマズ等が生息している。高水敷は大規模な公園として利用されるとともに、ヒバリやセッカ等の草地性の鳥類や、アカネズミ等の小動物の生息の場となっている。また、河岸や中州にはヨシ群落、ヤナギ林が分布している。

球磨川堰、新前川堰から下流は汽水域となっており、ボラ、ハゼ類等が生息し、水際にはヨシ群落や、アイアシ等塩沼植物群落分布しており、オオヨシキリ等の営巣地となっている。

河口付近は八代海の潮汐の影響を受ける感潮域であり、干潮時には大規模な河口干潟が出現する。水際にはヨシ群落や、シオクグ、アイアシ等塩沼植物群落分布している。河口干潟はシギ・チドリ類やカモメ類等の渡り鳥の中継地・越冬地となっている。また、ハクセンシオマネキやアナジャコ類等の甲殻類をはじめとする干潟特有の動物が多く生息し、ヘナタリガイ類等の有明海・八代海の特産種である底生動物も生息している。

川辺川では水際の河原にツルヨシ群落分布している。水域にはアユ、オイカワ、サワガニ等が生息し、鳥類ではヤマセミ等が生息している。

球磨川では、全川においてオオクチバスやブルーギル等の外来魚やセイタカアワダチソウ等の外来植物が確認されており、在来種の生息・生育・繁殖への影響が懸念されている。

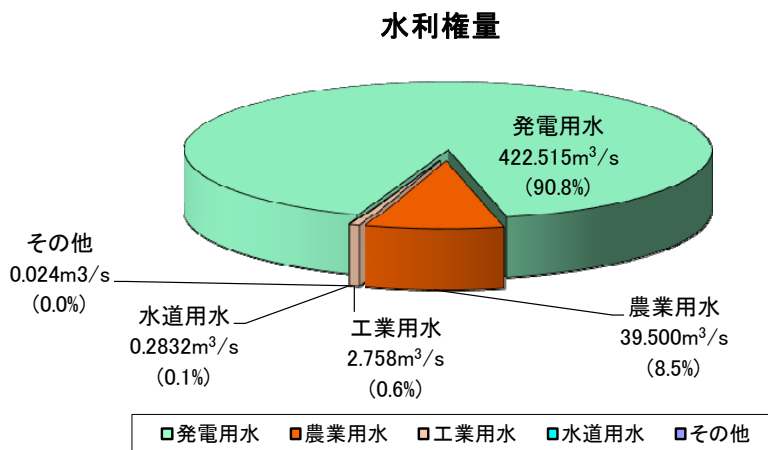
（２）水利用

河川水の利用は、農業用水及び発電用水が主で、全水利権量のうち発電目的と、かんがい目的で 99% を占めている。農業用水（許可）としては約 10,300ha に及ぶ耕地のかんがいに利用され、また、八代地域の工業用水のほか、流域外である上天草地域及び宇城地域の水道用水として利用されるなど、球磨川は、熊本県南部の重要な水源となっている。

発電を目的とした水利使用は、豊富な降水量と急峻な地形を背景に、大平発電所など 20 箇所の発電所において総最大出力約 64 万 kW の電力供給が行われている。

人吉地点から下流の本川の既得水利としては、農業用水、水道用水、工業用水、発電用水等の取水が行われている。

今後も適正な水利用がなされるよう、引き続き関係機関との連携・調整に努めていく必要がある。

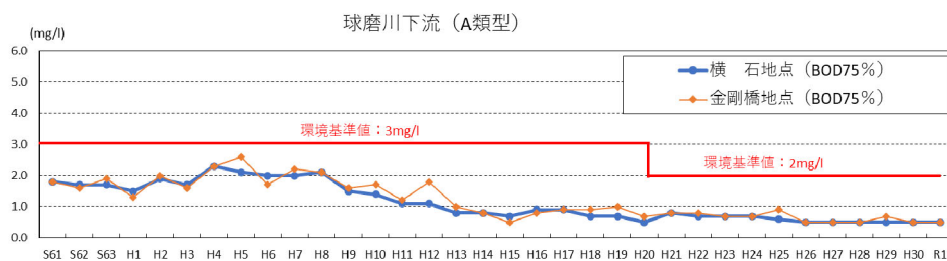
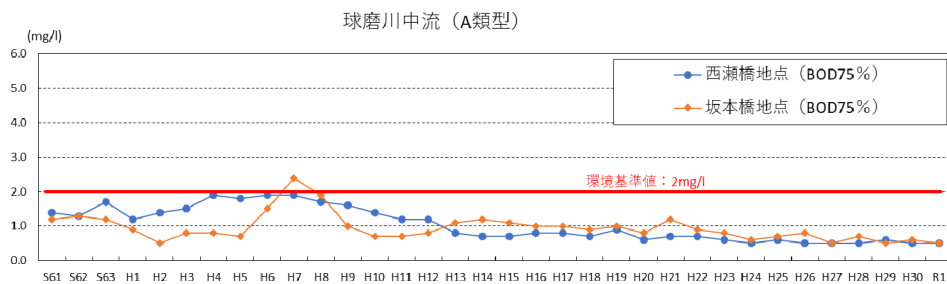
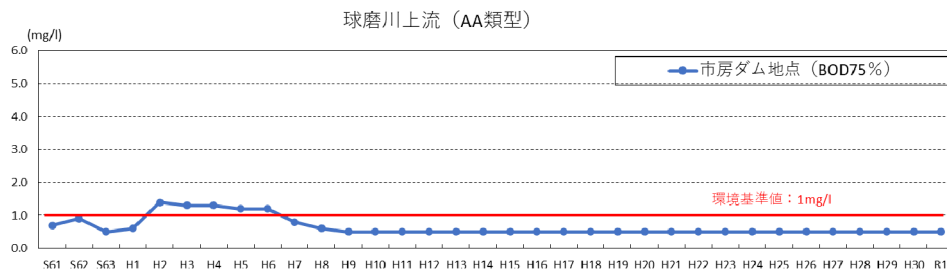


球磨川水系の水利権量内訳

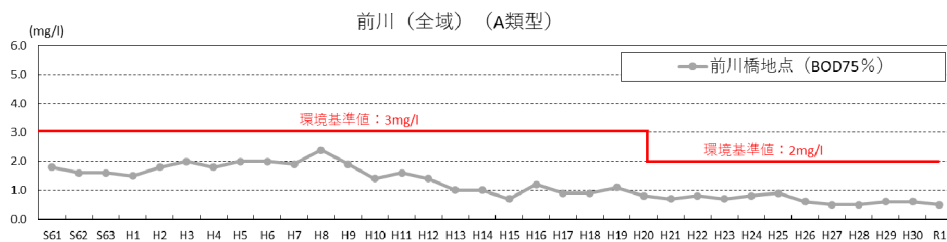
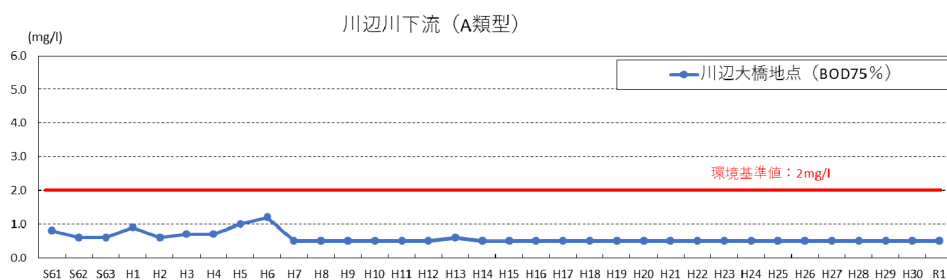
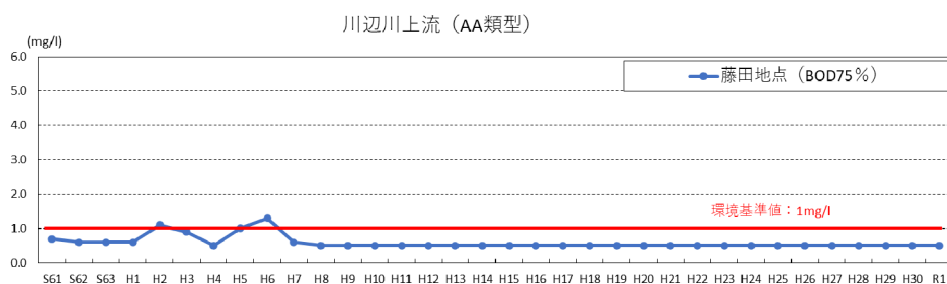
(令和3年(2021年)4月時点)

(3) 水質

球磨川の水質は、河川水質の一般的な指標である BOD75%値でみると、近年は環境基準を満たしており、良好な水質を維持している。特に、支川川辺川は、球磨川の中でも BOD の値が最も低く、良好な水質となっている。



※平成20年3月の基準見直しによりB類型からA類型に変更となった。



球磨川における水質 (BOD75%値) の経年変化

※市房ダム地点、坂本橋地点、藤田地点、川辺大橋地点は、熊本県が測定を実施

(4) 河川空間利用

球磨川の河川空間は、水質の良好な上流部では水遊びに利用されている。

中・上流部では、全国大鮎釣り大会が開かれるなどアユ釣りが盛んであり、多くの釣り人が訪れるとともに、球磨川は日本三急流の一つとして数えられ、球磨川の魅力を体感できる球磨川くだり、カヌー、ラフティングが盛んに行われている。また、人吉市から湯前町に至る区間では、川沿いに広域サイクリングロードが整備され、日本遺産に指定された人吉球磨地域を巡るコースとして人々に利用されている。人吉市街地には、温泉街に加え国指定史跡の人吉城跡、国宝の青井阿蘇神社など歴史・文化を物語る施設が点在し、川沿いは散策に利用されている。

下流部では、「八の字堰」周辺がカヌーイベントや環境学習などに新たな賑わいの場として利用されており、また、新萩原橋周辺地区において、「球磨川・新萩原橋周辺地区かわまちづくり」として、「八の字堰」の左岸側に、地域活性化及び観光促進、河川利用の促進を図るための「遙拝八の字広場」を八代市が整備しており、高水敷を利用した河川公園では、ウォーキングやランニング等のスポーツやレクリエーションに幅広く利用されているとともに、全国花火競技大会が開催されるなど、住民の憩いの場となっている。

1. 6 地域との連携及び河川愛護活動の状況

球磨川では、各地域などの特色を活かし、まちづくりと一体となった水辺が計画・整備され、環境学習や体験イベントといった水辺空間の利用を通じて、球磨川の魅力や川を軸とした文化の発信に関する新たな取組が積極的に行われている。新たな水面利用として、カヌーやラフティングが盛んになってきており、これら様々な河川利用が円滑になされるよう、地域との連携による安全の確保及び秩序の維持を図っていく必要がある。

地域住民及び企業等の参加による河川の環境美化活動、八代海へのゴミ流出を軽減するための清掃活動等を関係自治体と連携して推進するなど、ゴミ減量に向けた清掃・啓発活動等を広く展開を図っていく。

また、廃棄物等の不法投棄を減らすため、関係自治体、地域住民等と連携して監視体制の強化を図るとともに、ゴミマップの作成公表など、環境美化の啓発活動を実施していく。

堤防・河川敷における除草などの維持管理については、川の活動団体や地域住民、関係市町村等の参画を積極的に促進するとともに、家庭ゴミ等の不法投棄についても地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を支援することにより、河川美化の意識向上を図る等、地域と連携・協働した河川管理を実施していく。

2. 河川維持管理上留意すべき事項

2. 1 下流部 (0.0km～9.0km、前川、南川)

下流部は、洪水時に流れる河川の水位が周辺地盤より高く、また、広大な八代平野が広がっていることから、洪水氾濫が広がりやすい地形となっており、一旦氾濫すると被害が広範囲に及ぶおそれがある。また、萩原地区は、球磨川が大きく湾曲する水衝部となっており、堤防前面の河床に深掘れが生じやすく、堤防の幅が不足しているため、八代市街部を守るための萩原地区の堤防補強対策と深掘れ対策（平成 22 年度（2010 年度）までに概成）を実施している。また、河道内土砂については、遙拝堰の直下流が洗掘傾向、萩原地区が堆積傾向を示すなど河床の変動が大きい傾向にあり、河道の状況を適切に監視していく必要がある。

2. 2 中流部 (9.0km～52.4km)

中流部は約 43km に及ぶ山間狭窄部となっており、洪水時は水位が上昇しやすく、また、洪水流が河道と氾濫域を一体的に流下するため、家屋を流出させるような流速の大きな氾濫流が発生する特徴を有している。連続する堤防区間がなく、無堤区間については、発電用の瀬戸石ダム、また、球磨川沿いを走る国道 219 号や県道の管理者及び河川管理者がそれぞれ河岸及び河道の維持管理を担っている。

平成 30 年（2018 年）荒瀬ダムの撤去に伴い、荒瀬ダム上流の堆積土砂が下流河道へ流下したことによる河床変動が確認されたが、その後は、経年的な土砂移動により荒瀬ダム建設前と同様の砂州が形成されつつある。

洪水時は家屋が浸水し、多くの区間で道路が冠水することから、交通が途絶し、孤立集落が発生するなどの課題があり、日常的に状況把握を行う必要がある。

2. 3 人吉区間 (52.4km～64.6km)

人吉（球磨）盆地では、球磨川に多くの急流支川が流入していることから、洪水が発生しやすい特徴を有している。

人吉市街部は、特殊堤にて整備しているが、完成後 50 年以上経過しており、護岸や特殊堤の一部にひび割れやコンクリート表面の劣化が見られ、必要に応じて維持的な補修等を実施している。

また、人吉市街部区間においては、薄い砂礫層の下に軟岩層（人吉層）が分布しており、露出すると乾湿の繰り返しにより劣化し、流水により洗掘が進行するおそれがあるため、河川環境の保全や河川管理施設等への影響の観点から、軟岩層（人吉層）を極力露出させないように配慮する必要がある。

アユ釣りや球磨川くぐりに加え、ラフティング等の利用が多くなっていることから、関係自治体や河川利用者、地域住民等による水面利用の自主ルール整備に向けた「球磨川水面利用に関する安全対策連絡協議会」を開催し、河川管理者としても積極的に協力し、利用上の安全確保及び秩序の維持を図っていく。

2. 4 上流部（64.6km～91.8km、川辺川）

球磨川上流部は南九州独特の野イバラであるツクシイバラが生育し、世界最大の自生地となっているなど、支川川辺川を含めて多様な環境が維持されている。

河道掘削等の実施にあたっては、洪水時の流速や水位の縦断変化、河道の安定・維持、アユ等の多様な動植物が生息・生育・繁殖を行う良好な瀬・淵、砂礫河原、ワンド・たまり等の多様な河川環境や、サイクリング等での河川利用を踏まえた河川景観を保全・創出するとともに、再堆積・再樹林化の抑制を図るため、平面的な河川形状等を踏まえて、河道掘削等を実施するとともに、河道掘削後には土砂の再堆積や、樹木の再繁茂状況を継続的に観測し、その結果を踏まえて適切に維持管理を実施する必要がある。

3. 河川の区間区分

河川維持管理の目標や実施内容を定めるにあたって、状態把握の頻度等は河川の区間毎の特性に応じたものとする必要があるため、河川特性や背後地の土地利用等を考慮して、重要区間をA区間、通常区間をB区間として、以下のとおり区間区分する。なお、区間区分図は付図1のとおりである。

区 分	区 間
重要区間（A区間）	球磨川 39.4km(0k000～9k000、52k400～64k600) 前 川 4.2km(0k600～4k800) 南 川 2.0km(0k800～2k800)
通常区間（B区間）	球磨川 52.4km(9k000～52k400、64k600～91k800) 川辺川 2.4km(0k000～2k400)

<参考：区間区分の判別の目安>

堤 防 \ 背後地	都市部、住宅密集地	山間部、農村部、中小河川
堤防高4m以上	重要区間（A区間）	重要区間（A区間）
堤防高4m未満		通常区間（B区間）

※ 堤防高とは、背後地盤と堤防天端の比高であり、堤防高4mを境界条件に区分した理由は、堤防への河川水浸透に伴う危険度の違いを考慮したもの。

4. 河川維持管理目標

河川維持管理目標とは、河道及び河川管理施設を維持管理すべき水準であり、時間の経過や洪水・地震等の外力、人為的な作用等によって、本来河川に求められる治水・利水・環境の目的を達成するための機能が低下した場合、これを適確に把握して必要な対策を行うための基準として、以下のとおり河川維持管理目標を設定する。

河川維持管理目標は、可能な限り定量化することが望ましいが、河川は自然公物であり未解明な事象が多く、知見やデータの蓄積は必ずしも十分ではない。このため、当面は限られた既存の知見に基づき可能な範囲で定量的な目標を設定するが、今後さらに知見を蓄積して一層の定量化に努める。

4. 1 要注意箇所

長大な堤防や護岸、広大な河道を効率的かつ効果的に維持管理するため、また現況の環境を保全するとともにできる限り向上させるために、向こう5年間の維持管理を見通して、特に注意が必要な箇所（以下、「要注意箇所」という。）を以下の基準にて「付表1」とおり設定する。なお、要注意箇所は、現在の河川の状態とこれまでの経年変化等を考慮して設定したものであり、今後、維持管理をしていく中で必要に応じて適宜見直しを行う。

<参考：要注意箇所の設定基準>

① 堤防

堤防のり面の寺勾配化や表層の緩みが顕著な箇所、過去の点検等において変状が確認され経過監視が必要な箇所。

② 河川管理施設（堤防を除く）

過去の点検等において変状が確認され、経過監視が必要な箇所。

③ 河道

〔土砂堆積、樹木繁茂〕

河川整備計画の目標流量又は近年発生した最大規模の実績洪水流量が流下した場合に氾濫の危険性が高い箇所。なお、選定基準は以下の要件による。

区分	要件（土砂堆積）	要件（樹木繁茂）
要注意（A）	推算水位※1がHWL又は危険水位を超え、経年的に土砂堆積が進行している箇所	推算水位※1がHWL又は危険水位を超え、樹木繁茂が水位上昇に影響している箇所
要注意（B）	推算水位※1がHWL又は危険水位に接近し、経年的に土砂堆積が進行している箇所	推算水位※1がHWL又は危険水位に接近し、樹木繁茂の拡大が水位上昇に影響している箇所
要注意（C）	推算水位※1がHWL又は危険水位に接近しているが、土砂堆積は進行していない箇所、又は近年において河道の掘削又は堆積土砂を除去した箇所	近年において樹木を伐採した箇所

※1：推算水位とは、河川整備計画の目標流量又は近年発生した最大規模の実績洪水流量が流下した時の計算で求められる水位をいう。

〔河床低下、深掘れ〕

河岸への滯筋の接近状況や最深河床高、最深河床高の経年変化等を踏まえ、河床低下が進行することによって堤防や護岸等の崩壊の恐れがある箇所。なお、選定基準は以下の要件による。

区分	要 件
要注意 (A)	滯筋（最深河床の発生位置）が河岸に接近し、護岸等前面の河床低下が構造物機能に支障をきたす恐れがある箇所（岩河床や山付き部は除く）
要注意 (B)	滯筋（最深河床の発生位置）が河岸に接近し、護岸等前面の河床低下が直ちに構造物機能に支障をきたす恐れは無いが、経年的に河床低下が進行している箇所（岩河床や山付き部は除く）
要注意 (C)	上記二つの何れかの要件に合致するが、根固めや水制等を設置するなどの措置を行っている箇所

④ 環境

河川環境管理シートで代表区間や保全区間に選定されている箇所。

水草外来植物等の異常繁茂が頻繁に見られる箇所、特定外来植物の生育が顕著な箇所。

区分	要 件
代表区間	河川環境が典型的でありかつ相対的に良好な場を選定
保全区間	河川環境が特殊かつ重要な場を選定

4. 2 河川維持管理目標

4. 2. 1 河道の流下能力の維持

河道の流下能力維持については、向こう5年程度の維持管理を見通し、**付表2**のとおり要注意箇所において維持管理の目標となる流量（以下、「管理目標流量」という。）を設定して維持管理に努める。なお、この管理目標流量は、再度災害防止策として実施する改修の目標流量、又は段階的に実施される河川改修により確保された流量とする。

4. 2. 2 施設の機能維持

(1) 河道（河床低下、洗掘）

堤防や護岸等河川管理施設の機能維持については、向こう5年程度の維持管理を見通し、**付表3**のとおり要注意箇所において維持管理の目標となる最低河床高（以下、「管理河床高」という。）を設定して維持管理に努める。なお、この管理河床高は、既設の護岸や堤防の安定に支障を及ぼさない最低高さとする。

(2) 堤防

堤防が有すべき必要な機能を維持するために、高さや勾配などの形状、耐侵食機能、耐浸透機能に関して、以下のとおり堤防の維持管理の目標（以下「堤防管理目標」という。）を設定して維持管理に努める。

項目	目 標	
形状	高さ	完成堤の場合は計画堤防高、暫定堤の場合は施工時の目標高または最新の測量で得られた高さとし、距離標毎の高さは「付表 4」のとおりとする。
	のり勾配	2 割よりも緩やかな勾配とすることを基本とする。なお、寺勾配については、是正すること。
のり面被覆	裸地化のほか、耐侵食機能の低下や表層緩みをもたらす植生※1を占有させないことを基本とする。	
その他	樋門等構造物の周辺堤防に空洞が生じないようにする。	

※1：カラシナ、アブラナ、ダイコン、カラムシ、セイタカアワダチソウ、クローバー、クズ等の地被植物 等

※2：上記の植物の他に、湿性植物の群落は、常時、溜まり水が生じている可能性が有るので注意が必要。

(3) 護岸、根固め、水制等

護岸や根固め、水制、荒籠は、以下の所要の機能が確保されることを目標として維持管理に努める。

護岸：堤防の機能を維持するための河岸侵食の防止

根固め：堤防の機能を維持するための護岸の安定、河岸近傍の河床低下防止

水制：堤防の機能を維持するための河岸侵食の防止、河岸近傍の河床低下防止

(4) 床止（固）め

床止（固）め（落差工、帯工含む）は、以下の所要の機能が維持されることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については「付表 5」のとおりとする。

床止（固）め：堤防の機能を維持するための護岸等構造物の安定、河床低下防止

(5) 堰、水門・樋門、排水機場

堰や水門・樋門、排水機場は、以下の所要の機能が確保されることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については「付表 6」のとおりとする。

堰：平常時の河川水位の維持、洪水時の洪水疎通能力の確保

水門・樋門：堤内地からの排水、堤内地への逆流防止

排水機場：水門・樋門の門扉を閉鎖したときの堤内地からの強制排水

(6) 陸閘

陸閘は、以下の所要の機能が確保されることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については付表7のとおりとする。

陸閘：堤内地から堤外地への通行、洪水時の堤防機能の確保

(7) 浄化施設

浄化施設は、水質改善等を図るため、以下の施設の所要の機能が確保されるように維持管理に努める。

八代城川浄化用水導水機場：最大 0.2m³/秒の流水を導入して、八代城川の水質を改善

(8) 親水施設等

親水施設等は、整備時点の利用目的を満足できるよう、水辺における安全な利用及び所要の機能を維持するため、関係機関等と連携を図りながら維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については付表8のとおりとする。

(9) 水文・水理観測施設

水文・水理観測施設は、観測対象（降水量、水位、流量等）が適確に観測できることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については付表9のとおりとする。

(10) その他施設・機器

階段、管理用通路、標識、防護柵、車止め、魚道、警報施設、河川管理用カメラ、防災船着き場、飛び石等のその他施設・機器は、それぞれの施設・機器が有する所要の機能が確保されることを目標として維持管理に努める。

4. 2. 3 河川区域等の適正な利用

河川区域等が、治水・利水・環境の目的と合致して適正に利用されることを目標として、河川敷地の不法占用や不法行為等がなされないように維持管理に努める。

4. 2. 4 河川環境の整備と保全

(1) 環境

河川環境は相対的に良好な場や重要な要素を含む場を原則保全しつつ、相対的に劣っている場を改善することにより河川環境の底上げを図ることを目標とし、河川環境管理シートを活用して区間設定を行う。

区間設定においては、河川環境が比較的良好な状態で残されている区間を「代表区間」として設定し、河川環境が特殊かつ重要な場が残されている区間を「保全区間」として設定する。

なお、「代表区間」、「保全区間」以外の区間については、「代表区間」と同程度に良好であればそれを維持し、相対的に劣れば目標を達成するために必要となる方策を行う。

なお、「代表区間」、「保全区間」については付表 10 のとおりとする。

(2) 低水流量

かんがい用水や都市用水の安定した取水を確保し、魚類等の生息環境や水質、河川景観等の維持を図るために、以下の流量を管理上の最低必要流量（以下、「管理目標最小流量」という。）とする。

河川名	地点	流量	備考
球磨川	人吉	概ね 2 2 m ³ /秒	正常流量（4 月 1 日～11 月 10 日）
		概ね 1 8 m ³ /秒	正常流量（11 月 11 日～3 月 31 日）

(3) 水質

水質汚濁に係わる環境基準の類型指定等を踏まえ、以下の水質基準を管理上の目標水質（以下、「管理目標水質」という。）として維持管理に努める。

また、油の流出等の水質事故が発生した場合にあっては、水生生物の生息や水利用に影響が及ばないように関係機関と連携し、迅速かつ的確な対応に努める。

河川名	地点	対象区間	目標	備考
球磨川	西瀬橋 横石 金剛橋	0 k 0 0 0 ～ 9 1 k 8 0 0	BOD2mg/1 以下	A 類型
前川	前川橋	0 k 6 0 0 ～ 4 k 8 0 0	BOD2mg/1 以下	A 類型

5. 河川の状態把握

河川の状態把握は、基本データの収集、河川巡視、点検等により行うこととし、河川維持管理の目標、河川の区間区分、河道特性等に応じて、適切に実施する。そのため、河川維持管理データベースシステム(RiMaDIS: River Management Data Intelligent System 以下、「RiMaDIS」とする。)により、河川巡視や点検結果、河道基盤情報等の河川維持管理に関する基本情報を適切に蓄積する。

5. 1 基本データの収集

5. 1. 1 水文・水理等観測

水文・水理観測や水質調査のデータは、治水・利水計画の検討や洪水時の水防活動に資する情報提供、河川管理施設の保全、治水調整の実施等の基本となる重要なデータであることから、観測精度の向上に努めながら、河川砂防技術基準調査編や水文観測業務規程、河川水質調査要領等に基づき、以下のとおり観測及び調査を実施する。

(1) 雨量、河川水位観測等

項目	観測所	観測頻度
雨量	1 1 箇所	原則として、通年観測する。 なお、各観測所の諸元については付表 9 のとおりとする。
河川水位	1 1 箇所	
風向、風速	1 箇所	
地下水水位	1 箇所	

(2) 流量観測

項目	観測所	実施基準等	備考
高水流量観測	9 箇所	原則として、水防団待機水位を上回った時とする。 なお、各観測所の諸元や観測実施の判断の目安とする基準観測所は付表 1 1 のとおりとする。	精度の高い H-Q 式を作成するために、可能な限り密な水位間隔で満遍なくデータが収集できるよう努める。
低水流量観測	9 箇所	原則として、月 3 回、年 3 6 回の観測とし、必要な範囲(水位)を観測する。	

(3) 水質調査

項目	観測所	調査地点、項目、回数
水質調査	8 箇所	各観測所の諸元や調査項目、調査回数は付表 1 2 のとおりとする。

(4) 洪水痕跡調査等

項目	実施基準等
洪水痕跡調査	原則として、避難判断水位を上回った時とする。 なお、調査実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表13-1のとおりとする。 【参考：区間毎の近年の調査年月は付表14のとおり。】
堤内地浸水調査 (写真撮影含む)	原則として、河川の氾濫等による家屋の浸水被害が発生した時とする。 状況に応じて UAV や 360 度カメラ等を活用し被害状況の把握に努める。
航空斜め写真撮影	原則として、大規模な浸水被害が発生した時とする。 状況に応じて UAV や 360 度カメラ等を活用し被害状況の把握に努める。 【参考：区間毎の過去の調査年月は付表15のとおり。】

5. 1. 2 測量

現況河道の流下能力や河床の変動状況、河川の平面形状の変化、河道内の樹林化等を把握するために、河川砂防技術基準調査編等に基づき、以下のとおり縦横断測量や空中写真測量等を実施する。

項目	実施基準等
縦横断測量	原則として、点群測量により 5 年ごとに測量を実施する。 ただし、平均年最大流量以上の出水があり、河道の変化が認められた時は、該当区間を対象として臨時に横断測量を行う。 なお、測量実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表13-2のとおりとする。 また、定期に行う横断測量は、堤防管理にも使用できるよう河川区域の全幅測量とし、臨時に行う横断測量は、必要に応じて洪水後の変化が認められる低水路幅とすることを基本とする。 【参考：区間毎の過去の測量年月及び測量手法は付表16のとおり。】
空中写真測量	原則として、5 年ごとに空中写真測量を実施し、地形変化が認められる区域については、1/2500 平面図の図化を行う。 滞筋や砂州、河道内の樹木の変化を把握することも目的の一つであることから、原則として、縦横断測量の実施時期と整合を図る。 【参考：区間毎の過去の測量年月は付表17のとおり。】

5. 1. 3 河道の基本データ

河道の特性や河道の変化を適確に把握するための河道の基本データ収集として、河川砂防技術基準調査編等に基づき、以下のとおり河床材料調査や河道内樹木調査を実施する。

項目	実施基準等
河床材料調査	原則として、5年ごとに定期調査を実施する。 水位解析や河床変動解析等に使用することを目的としていることから、原則として縦横断測量の時期と整合を図る。 更に、出水によって、著しい河床高の変化や河床材料の変化が認められたときは、該当区間を対象として臨時に調査を行う。 【参考：区間毎の過去の調査年月は付表18のとおり。】
河道内樹木調査 砂州調査	原則として、5年ごとに定期調査を実施する。なお、調査は航空斜め写真撮影による方法を基本とする。 水位解析等に使用することを目的としていることから、原則として縦横断測量の時期と整合を図る。 また、適宜、地上踏査による分布調査や密度調査、さらには防災ヘリコプターはるかぜ号やALB、UAV等を使用した上空からの巡視（状態把握）等により情報を補完する。 【参考：区間毎の過去の調査年月は付表19のとおり。】

5. 1. 4 河川環境の基本データ

河川環境の整備と保全を行うため河川環境の基本データ収集として、河川水辺の国勢調査マニュアルに基づき、以下のとおり河川水辺の国勢調査を実施する。具体の時期、項目等については付表20のとおりとする。

	調査頻度	備考
魚類	5年に1回実施	
底生生物	5年に1回実施	
植物	10年に1回実施	
両生類、哺乳類、爬虫類	10年に1回実施	
陸上昆虫類	10年に1回実施	
鳥類	10年に1回実施	
空間利用実態調査	5年に1回実施	
河川環境基図作成	5年に1回実施	

※植物調査時には、堤防の健全性の評価を目的とした堤防のり面植生の分布調査を実施し植生分布図を作成する。

※河川水辺の国勢調査実施に併せて、河川環境情報図を更新する。河川環境基図作成調査の実施年または翌年に、河川環境管理シートを更新する。

5. 1. 5 観測施設、機器の点検

水文・水理データや水質データを適正に観測するために、河川砂防技術基準調査編や電気通信施設点検基準（案）等に基づき、以下のとおり定期的に観測施設や機器の点検を実施する。なお、対象施設は付表9のとおりとする。

項目	観測所	点検頻度
雨量	1 1箇所	総合保守点検は年1回、定期点検は月1回とする。 なお、総合保守点検は、出水期に備えて4月から6月上旬までの間に行う。※電気通信施設の点検周期及び時期は、電気通信施設点検基準（案）に基づき行うものとする。 樹木の繁茂等により降水量、流量観測等に支障があるときは、必要に応じて伐開等を実施する。 観測計器については、気象業務法に基づく点検を受ける。 局舎等の建造物についても年1回点検を行う。
河川水位	1 1箇所	
風向、風速	1 箇所	

5. 2 堤防点検等のための環境整備

出水期前の堤防点検や台風期の堤防点検に支障がないように、それらの時期にあわせて堤防除草を年2回実施する。

なお、出水期前の堤防点検は1 1月から2月までの期間、台風期の堤防点検は7月下旬から9月までの期間に実施することから、堤防除草の時期は以下のとおりとする。

項目	実施時期
出水期前点検のための除草	原則として、9月～1 2月までの期間（前年）
台風期点検のための除草	原則として、5月～8月までの期間

5. 3 河川巡視

5. 3. 1 平常時の河川巡視

概括的に河川の状態を把握するために、重要区間（A 区間）においては週2巡、通常区間（B 区間）においては週1巡の頻度で、九州地方整備局河川巡視規程に基づき、平常時の河川巡視を実施する。

また、効率的かつ効果的な状態把握に努めるために、目的や時期、場所を特定して行う目的別巡視を以下のとおり実施する。さらに、UAV 等の新技術を活用した効率的、効果的な巡視方法についても検討するよう努める。

なお、その詳細については別途作成する「年間巡視計画」や「月間巡視計画」による。

目的別巡視項目	実施時期	備考
不法取水	6月頃（しろかき期）	
不法占用	5月頃	
ごみ等の投棄	1 2月頃、3月頃	年末、年度末
堤防の状況	豪雨後、洪水後、地震後、除草後	

護岸・根固め、水制の状況	洪水後	
許可工作物の状況	洪水後	
親水施設等の状況	4月頃、7月頃	連休前、夏休み前
標識の状況	10月頃	
河道の状況	洪水後、樹木繁茂時	
季節的な自然環境の変化や河川利用	随時	菜の花の開花、舟下り、ラフティング、アユ釣り、アオノリ等
河川の水位に関する状況	渇水時	瀬切れ
魚道の通水状況	渇水時、5月頃（保全すべき対象魚の遡上時期）	
外来生物（オオキンケイギク等）の繁茂状況	5月頃	
河川環境の簡易チェック	年度初め、洪水後	年に1～2回程度

5. 3. 2 出水時の河川巡視

洪水や高潮時に河川管理施設等に変状が発生したときには、水防作業や緊急的な修繕等の適切な措置を講じる必要があることから、河川やその周辺の概括的な状態を迅速に把握するために、以下のとおり出水時の河川巡視を実施する。

実施基準等	把握する項目
原則として、実施の判断の目安とする基準観測所において水防団待機水位を上回り、氾濫注意水位に達する恐れがあるときとする。 また、原則として、最高水位に達した後に減水し、氾濫注意水位を再度上回る恐れがなくなるまで継続する。 なお、実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表13のとおりとする。	① 堤防の状態 ② 洪水流の状態 ③ 樹木の状態 ④ 河川管理施設や許可工作物の状態 ⑤ 堤内地の浸水状況 ⑥ 水門、樋門等の操作状況 ⑦ 水防活動の状況

5. 4 点検

5. 4. 1 出水期前、台風期、出水後の点検

出水期前や台風期、出水後には、河道や河川管理施設の状態を適確に把握するために、徒歩による目視または計測機器等を使用して、堤防等河川管理施設及び河道の点検要領案に基づき、以下のとおり点検を実施する。

なお、点検にあたっては、河道・堤防点検における点群データ活用等の新技術活用についても検討するよう努める。

(1) 出水期前の点検

区分		実施基準等
堤防	土堤	全箇所を対象として、原則として11月から2月までの期間に実施する。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場、陸閘、浄化施設、親水施設等	なお、対象施設は付表5～7のとおりとする。
	床止め、落差工	
	低水護岸、根固め、水制	
河道	土砂堆積	要注意箇所を対象として、原則として11月から2月までの期間に実施する。
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	
		なお、対象箇所は付表1－3のとおりとする。

(2) 台風期の点検

区分		実施基準等
堤防	土堤	要注意箇所を対象として、原則として7月下旬から9月までの期間に、除草後速やかに実施する。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場、陸閘、浄化施設、親水施設等	なお、対象箇所は付表1のとおりとする。
	床止め、落差工	
	低水護岸、根固め、水制	
河道	土砂堆積	
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	

(3) 出水後の点検

区分		実施時期
堤防	土堤	原則として、氾濫注意水位を上回った区間において、減水後速やかに実施する。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
		なお、点検実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表13－3のとおりとする。

河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場、陸閘、浄化施設、親水施設等	—
	床止め、落差工	原則として、平均年最大流量を上回った区間において、減水後速やかに実施する。
	低水護岸、根固め、水制	
河道	土砂堆積	なお、点検実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表 1 3 - 4 のとおりとする。
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	—

5. 4. 2 地震後の点検

震度 4 以上の地震が発生したときには、大津波警報や津波警報、津波注意報が解除され安全を確認した後に、地震後の点検要領（九州地方整備局）に基づき以下の要件にて、直ちに河川管理施設の状態を把握するための一次点検及び二次点検を実施する。

一次点検とは、各施設の異常の有無とその状況について目視による外観点検とし、二次点検とは、各施設の異常の有無とその状況について詳細な外観点検と必要に応じて計測による点検を行うものである。

なお、点検実施の判断の目安とする地震観測地点は付表 2 1 のとおりし、対象施設は堤防のほか付表 5 ～ 7 に示す河川管理施設等とする。

実施基準等	実施内容等
震度 5 弱以上	一次点検及び二次点検を実施する。
震度 4 が発生し、かつ以下に該当する場合 イ. 出水により水防団待機水位を超え、氾濫注意水位に達する恐れがある場合 ロ. 直前に発生した地震または出水、もしくはその他の原因により既に河川管理施設または許可工作物が被災しており、新たな被害の発生が懸念される場合	一次点検を実施する。 なお、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。
震度 4（上記のイ. ロ. に該当しない場合）	地震発生の当日または翌日（翌日が閉庁日の場合は次開庁日）に平常時の河川巡視により状態を把握する。 なお、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。

5. 4. 3 親水施設等の点検

河川利用は、利用者自らの責任において行われることが原則であるが、親水を目的として整備した施設については、利用者の安全を確保するために、利用が増加する時期を考慮

し、原則として5月のゴールデンウィーク前と7月の夏休み前に点検を実施する。

点検は、施設占有者や利用者と合同にて行い、対象施設の利用状況や危険の発生する可能性について情報共有を図る。なお、対象施設は付表8のとおりとする。

5. 4. 4 その他の土木・建築施設の点検

階段等の土木施設については河川の出水前点検時に併せて実施する。上屋等の建造物については、11月から2月までの期間において年1回の頻度で実施する。

5. 4. 5 機械設備・電気通信施設を伴う河川管理施設の点検

機械設備・電気通信施設を伴う河川管理施設（堰、水門・樋門、排水機場等）については、信頼性の確保と機能維持のために、機械設備、電気通信施設に対応した定期点検や運転時点検、臨時点検を実施する。

（1）機械設備の点検

機械設備については、以下のとおり点検を実施する。なお、点検内容の詳細については、「河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」、「河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」に準じるものとする。なお、個別施設の点検区分については、付表22のとおりとする。

<ゲート設備>

点検区分		点検頻度	点検内容
定期点検	月点検（管理運転点検）	台風期前後に各1回	専門技術者による管理運転・目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②障害発生状況の把握
	月点検（目視点検）	台風期前（8月～9月）に1回	③各部の機能確認 ④前回点検時以降の変化の有無
		18回／年 出水期（5月～10月）：2回／月 非出水期（11月～4月）：1回／月	操作従事者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②給油状況の確認 ③運転操作及び起動時の異常の有無
	年点検	出水期前（4月～5月）に1回	専門技術者による詳細点検 ①各部の詳細な点検及び計測
運転時点検		運転前、運転中、運転後に実施する。	操作従事者による目視点検 ①運転・操作開始時の障害の有無 ②運転・操作中および終了時の異常の有無や変化等の状況確認・動作

		確認 ※異常等が検知された場合は、専門技術者による保全整備を実施
臨時点検	地震、出水、落雷、 その他要因により、 施設・設備・機器に 何らかの異常が発生 した恐れが有る場合 に速やかに実施す る。	専門技術者による目視点検 ①設備全体の異常の有無

<排水機場(ポンプ)設備>

区分		点検頻度	点検内容
定期点検	月点検（管 理 運 転 点 検）	台風期前後に各 1 回	専門技術者による管理運転・目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②障害発生状況の把握
	月点検（目 視点検）	台風期前（8 月～9 月）に 1 回	③各部の機能確認等 ④前回点検時以降の変化の有無
		1 8 回／年 出水期（5 月～1 0 月）：2 回／月 非出水期（1 1 月～ 4 月）：1 回／月	操作従事者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②給油状況の確認 ③運転操作及び起動時の異常の有無
	年点検	出水期前（4 月～5 月）に 1 回	専門技術者による詳細点検 ①各部の詳細な点検及び計測
運転時点検		運転前、運転中、運 転後に実施する。	操作従事者による目視点検 ①運転・操作開始時の障害の有無 ②運転・操作中および終了時の異常 の有無や変化等の状況確認・動作 確認 ※異常等が検知された場合は、専門技術者による保全整備を実施

臨時点検	地震、出水、落雷、 その他要因により、 施設・設備・機器に 何らかの異常が発生 した恐れが有る場合 に速やかに実施す る。	専門技術者による目視点検 ①設備全体の異常の有無
------	---	-----------------------------

（２）電気通信施設の点検

電気通信施設については、機器・設備ごとに点検周期を定め、正常動作の確認を行うものとする。なお、詳細については、「電気通信施設点検基準（案）」に準じる。

５．４．６ 樋門等構造物周辺堤防の詳細点検

出水期前の堤防点検等において樋門等構造物周辺堤防の変状が認められた箇所については、優先順位を付けて１０年に１回程度の頻度で「樋門等構造物周辺の堤防点検要領」に準じて、連通試験等を含む詳細点検を実施する。なお、今後５年間で実施予定施設は付表２３のとおりとする。

５．４．７ 許可工作物の点検

許可工作物については、毎年１１月から５月までの期間内に、施設管理者による出水期前の点検がなされるよう適切に指導する。

施設管理者による点検結果については報告を求めるとともに、原則として、現地にて立会確認して情報の共有を図るとともに、必要に応じて助言・指導を行う。

なお、対象施設は、原則として暗渠等を除く全ての施設とし付表２４のとおりとする。

５．５ 河川カルテ

巡視や点検等によって得られた情報や工事履歴、措置履歴、被災履歴等の情報は、河川カルテに記録保存し、PDCA サイクルによる河川維持管理の一層の推進のために役立てる。

なお、河川カルテは、逐次更新と迅速な分析・評価が可能となるように RiMaDIS によりデータベース化を図る。

５．６ 河川の状態把握の分析、評価

適切な維持管理対策を検討するため、河川巡視や点検による河川の状態把握等の結果を分析・評価する。評価した結果に基づき、措置方針を組織的に決定するとともに、必要に応じて関係者との情報共有を図る。なお、状況に応じて学識者等の助言を得るものとし、分析・評価や措置判断で得られた知見は、河川維持管理計画の見直し反映するとともに、計画や施工、管理にフィードバックするとともに、RiMaDIS に蓄積する。

区分	実施基準等
基本データの収集	水文・水理等観測データについては、異常値の有無について常に点検するとともに、水位等の統計データについては、半年毎に照査を実施する。 測量、河道の基本データを新たに収集したときには、河道の変化を把握するために傾向分析をする。なお、5年に1回の頻度で流下能力の確認や河床変動特性について詳細な分析評価を実施する。 河川環境基図作成の調査を新たに実施したときには、河川環境管理シートを更新し河川環境の変遷について分析評価を実施する。
河川巡視	平常時巡視の結果については、毎回、分析・評価し、措置方針については組織的に判断する。
点検	点検の結果については、毎回、過去からの傾向を含めて分析・評価し、措置方針については組織的に判断する。

6. 具体的な維持管理対策

河川維持管理の目標と状態把握の結果を照らし合わせて、本来河川に求められる治水・利水・環境の目的を達成するための機能が低下した場合、適切な対策や措置を実施する。その判断基準については、以下のとおりとする。

区分		対策実施の判断基準
河道の流下能力の維持	土砂堆積 樹木繁茂	要注意箇所において、管理目標流量を安全に流下させることができない恐れがあるとき
施設の機能維持	河床低下 河床洗掘	要注意箇所の河岸部の河床高が、管理河床高を下回る恐れがあり、護岸等の構造物の機能に支障をきたすとき
	堤防	堤防管理目標を満足せず、堤防の機能に支障をきたすとき
	その他	維持管理の目標を満足せず、機能に支障をきたすとき
河川区域等の適正な利用		維持管理の目標を満足せず、河川管理上支障をきたすとき
河川環境の整備と保全	低水流量	管理目標最小流量を下回り、安定した水利用や河川環境上支障をきたすとき
	水質	管理目標水質を下回り、河川環境上支障をきたすとき 水質事故が発生し、水利用や河川環境上支障をきたすとき
	その他	維持管理の目標を満足せず、河川管理上支障をきたすとき

なお、具体的な対策方法や措置方法については、洪水等に対する安全性の確保、安定した水利用の確保、河川環境の整備保全、適正な河川の利用の促進などを総合的に判断したうえで、原則として以下の中から最適策を選択して実施する。

区分		対策方法、措置方法
河道の流下能力の維持	土砂堆積 樹木繁茂	堆積土砂の除去、樹木伐開等
施設の機能維持	河床低下 河床洗掘	床止（固）め設置、根固め設置、護岸基礎の根継ぎ、水制の設置、堆積土砂の除去、樹木伐開等
	堤防	盛土、置き換え、空洞の充填、法面補修（表層置き換え、芝張り）、特殊堤補修、樹木伐開、ドレーン工設置、止水矢板設置、天端舗装等

	その他	各種補修、交換、更新、補強等
河川区域等の適正な利用		指導、啓発、巡視強化、監督処分、塵芥処理等
河川環境の整備と保全	低水流量	巡視強化、情報収集、環境調査、濁水調整等
	水質	啓発、環境調査、流出物の回収等
	その他	駆除、保全措置等

7. 地域連携等

(1) 地域住民等の参加による河川清掃

効果的・効率的な河川維持管理を推進するために、自治体、河川協力団体、NPO、市民団体等と連携した地域協働による河川の維持管理を推進する。

地域協働による河川の維持管理、河川敷地のゴミ拾いなど、地域住民等が主体となって実施されている清掃活動の箇所や頻度等については「付表25」のとおりである。これらの活動は、河川の美化だけではなく、海域へのゴミの流出抑制や河川愛護意識の啓発にも寄与していることから、さらに活動の輪が広がるように、自治体や企業、NPO等の住民団体等との連携を深めて、必要な支援等を実施していく。

(2) 堤防の刈草や伐採木のリサイクル

堤防の除草において発生する刈草については、処理費用の縮減と環境への負荷軽減のために、畜産や果樹園の敷き草、堆肥の資材、飼料として提供しており、リサイクル率は100%に達している。また、樹木伐採により発生した伐採木についても適度な大きさに細切りし、無料配布を実施しているところである。さらにリサイクルが進むように、広報活動や受け渡し方の工夫等に努めていく。

(3) 排水ポンプの運転調整

洪水時に河川水位が上昇し、堤防決壊やその恐れが生じたときには、被害の防止又は軽減を目的として排水ポンプの速やかな停止等の運転調整が必要なため、関係機関等との十分な協議及び理解のもと、排水機場の運転調整に努める。

(4) 避難判断の参考となる情報の提供

洪水時の住民の円滑な避難等に資するために、球磨川流域の市町村との協働によるタイムラインの検討、ホットラインによる自治体首長への水位情報の提供、事務所ホームページによる防災情報の提供、携帯アラームメールの運用、危険度レベルを示す河川水位標識の設置等を行い、わかりやすい河川情報の提供に努める。また、報道機関等の協力を得て、地上デジタルテレビ放送やケーブルテレビ放送、ラジオ放送等を通じた河川情報の提供に努める。

(5) 水辺の安全利用・河川環境に関する情報の提供

河川の水難事故を未然に防ぐことを目的として、子どもを対象とした水辺の安全利用知識の普及促進のための講習会をNPO等の住民団体と連携して実施する。また、河川環境に親しみを感じてもらうことを目的として、水生生物調査や環境学習等もNPO等の住民団体と連携して実施する。

(6) 水門等操作員の担い手の育成

洪水時の水門等の操作を適確に実施するために、毎年1回、操作員を対象とした講習会等を自治体と連携して実施する。また、サラリーマン化や高齢化の進展に伴い、今後、操

作員の担い手が不足することを考慮し、樋門の無動力化や排水機場の操作の遠隔化等の整備を必要に応じて実施する。

(7) 学校等が行う水防災教育の支援

過去の水害や洪水時の避難など、水災害に関する基礎的な知識を普及促進させるために、河川に関する基礎的な知識や情報を提供し、学校等が行う防災教育を積極的に支援する。

(8) 水防管理団体が行う水防への協力

水防管理団体が河川管理者との協議に基づき「河川管理者の協力が必要な事項」水防計画に定めたときは、当該水防計画に基づき水防管理団体が行う水防に協力する。

(9) DX（デジタルトランスフォーメーション）等の新たな取り組み

河川の維持管理を行うにあたっては、三次元点群データを活用した三次元管内図等により、調査・計画、設計、施工、維持・管理や災害時の被災調査など一連業務の高度化・効率化を図る必要があるため、新技術の開発や活用の可能性を検討するとともに、DX に取り組むことで、維持管理の省力化・ライフサイクルコストの縮減を図っていく。

8. 効率化・改善に向けた取り組み

(1) 定量的な基準による河道管理

土砂堆積、樹木繁茂に対する河道流下断面確保、河床低下や洗掘等に対する施設機能の維持のための河道管理については、一層の技術研鑽を図り、管理基準の定量化や閾値の明確化、精度向上等に努める。

(2) 定量的な基準による堤防管理

堤防の安定性や耐侵食性能、耐浸透性能を維持するための堤防管理については、一層の技術研鑽を図り、管理基準の定量化や閾値の明確化、精度向上等に努める。

(3) 再堆積しにくい掘削方法の追求

河道掘削を実施する場合には、流下能力の長寿命化による維持管理費用の縮減を図るために、再堆積しにくい掘削方法について、一層の技術研鑽を進める。また、球磨川中流部等の再堆積抑制が難しい区間等については、あらかじめ維持管理のための坂路を設置するなど、再堆積した場合でも維持管理しやすい方法の検討を行う。

(4) 老朽構造物の適確な診断と長寿命化

水門・樋門、堰、排水機場等の老朽化が進行することを踏まえ、コンクリート部の診断基準や機械設備の傾向管理の手法、管理基準の定量化、閾値の明確化、精度向上等に努めるとともに、長寿命化のための対策工法の確立に努める。特に、完成後30年経過した施設については、コンクリート標準示方書維持管理編に準じてコンクリート健全性を診断するための点検（コンクリート診断士による外観点検）を実施し、異常が認められたときには、必要に応じて詳細な診断調査を行うように努める。

また、老朽化した施設を改築する場合、近隣施設との統廃合も含めた検討を行う。

(5) 非常時を想定したゲート設備の操作

津波の発生や洪水によって堤防決壊の恐れが生じたときには、操作員の安全を確保したうえで、適確な操作が可能となるように、ゲート施設の無動力化（フラップゲート等）や遠隔操作等による対応を進めていく。また、集中豪雨等による急激な水位上昇に備える観点からも、背後地の土地利用を考慮しつつゲート設備の無動力化（フラップゲート等）を進めていく。

なお、無動力化へ改築を行う場合は、支川管理者及び水防管理者と不完全閉塞のリスクやゲートの監視体制等について協議し、関係機関等とより一層の連携を図る。

(6) 河川維持管理のデータベース整備

河川カルテのほかにも、河川維持管理に関する各種情報の蓄積を図り、データに基づくPDCAサイクルによる河川維持管理を一層推進していくために、電子システムによるデータベース化を進めていく。

(7) 被災原因の究明と得られた知見の活用

堤防や河川構造物等が洪水の作用等によって被災したときには、被災の機構や原因の究明を行い、それによって得られた知見を復旧に反映させるとともに、今後の計画や設計に反映させる。

(8) 堤防被覆植生の長寿命化

堤防の被覆に使用する植生については、これまで「野芝」を採用してきたが、短期間で雑草に遷移して除草コストの増大や点検・巡視に支障が生じている。このため、被覆機能の持続性に優れる改良芝等を採用するなど、堤防の治水機能の維持や点検・巡視への支障の解消、除草コスト縮減を図るための取り組みを進める。

(9) 施設の操作周辺の土地利用や河川特性を踏まえた操作

水門・樋門、堰、排水機場等の操作については、河川改修の進捗や土地利用の変化等を踏まえて、常に効率的かつ効果的な操作となるように、必要に応じて適宜見直しを行う。

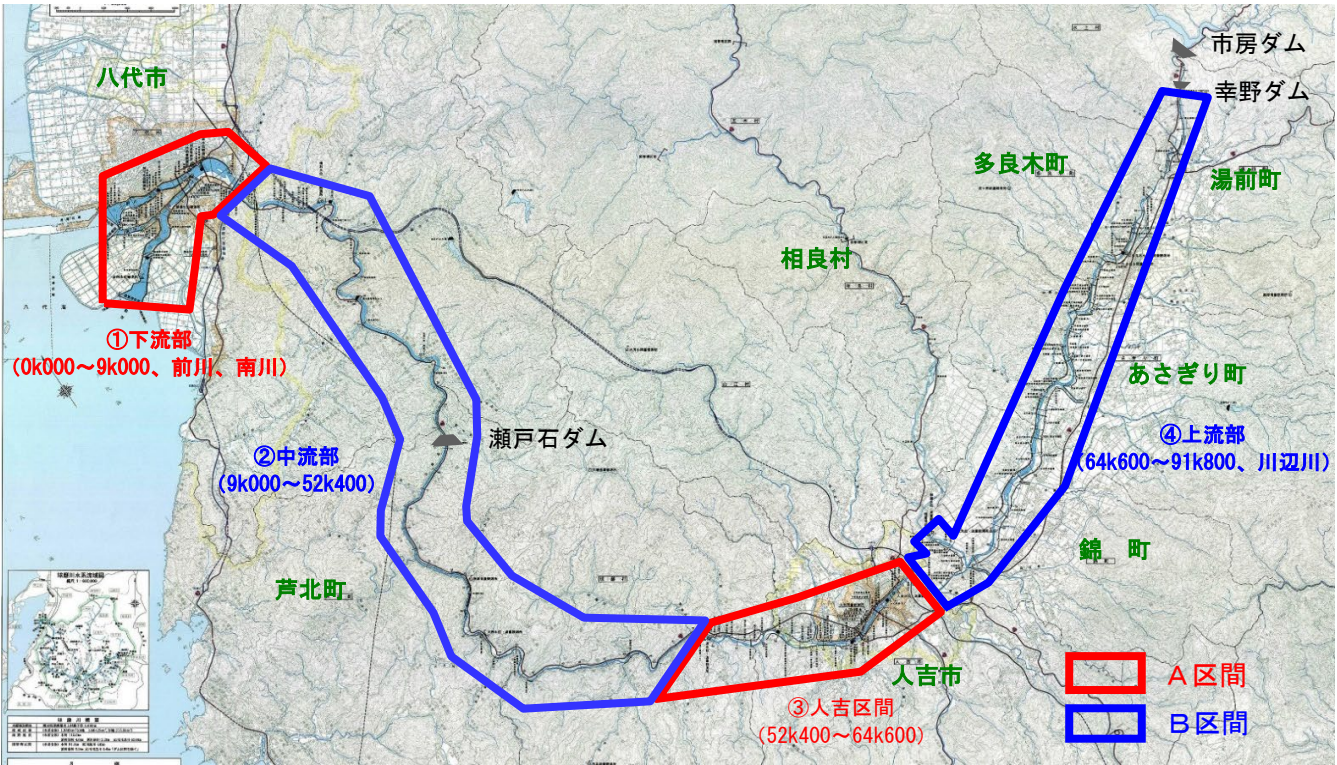
(10) 河川標識の改善

河川区域に設置する標識（看板類）については、わかりやすさの向上と周辺景観との調和を図るために、ピクトグラム（図記号）の採用や重要度に応じて色により分類するなど、統一的なルールに従って設置または改善を図る。なお、河川区域に設置する標識は、必要最小限とする。

関連基準等

- ・ 河川砂防技術基準 維持管理編（河川編） 令和 3 年 10 月
- ・ 河川砂防技術基準 調査編 令和 4 年 6 月
- ・ 水文観測業務規程 平成 29 年 3 月
- ・ 河川水質調査要領（案） 平成 17 年 3 月
- ・ 電気通信施設点検基準（案） 令和 2 年 11 月
- ・ 河川水辺の国勢調査マニュアル 平成 28 年 3 月
- ・ 九州地方整備局平常時河川巡視規程 令和 2 年 3 月
- ・ 堤防等河川管理施設及び河道の点検要領 令和 5 年 3 月
- ・ 河道、堤防、施設の点検及びデータ管理の手引き 令和元年 12 月（九州地方整備局版）
- ・ 地震後の点検要領 平成 26 年 9 月（九州地方整備局版）
- ・ 河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル（案） 平成 27 年 3 月
- ・ 河川用ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案） 平成 27 年 3 月
- ・ 樋門等構造物周辺堤防詳細点検要領 平成 24 年 5 月
- ・ 正常流量検討の手引き（案） 平成 19 年 9 月
- ・ 河川環境管理シートを用いた河川環境評価の手引き 令和 5 年 7 月

付図1 区間区分図



付表1 要注意箇所

付表1－1 要注意箇所(堤防)

河川名	区間(km～km)	左右岸	備考(変状部位・内容等)
球磨川	15k880 ～ 15k880	左岸	連節ブロックの乱れ、法肩の一部流出
	18k234 ～ 18k234	左岸	低水護岸天端の連節ブロックの破損
	36k470 ～ 36k470	右岸	小段張コンクリートの沈下
	36k681 ～ 36k681	右岸	護岸ブロック及び階段工の沈下、亀裂
	39k500 ～ 39k500	左岸	低水護岸基礎コンクリートの崩壊
	40k897 ～ 40k897	左岸	連節ブロックの流出
川辺川	2k323 ～ 2k323	左岸	低水護岸の崩壊及び背面の土砂流出

点検期間:2021/11/8～2021/12/10

付表1-2 要注意箇所(河川管理施設)

河川名	位置(km)	左右岸	施設名	備考(変状部位・内容等)
球磨川	2k860	右岸	中川原排水樋管	天端沈下、門柱鉄筋露出、水路欠損、水路側壁コンクリート浮き
				床版橋底版の破損、護岸ブロックの欠損、転落防止柵の腐食
				操作室の傾斜
	3k550	左岸	植柳第二排水樋管	平張コンクリートの亀裂、護岸ブロックの開き、護岸ブロックの開き・段差
				操作室屋根のひび割れ、防護柵の塗装劣化・錆
	52k625	右岸	舟戸排水樋管	函内エフロ、函内接合部の開き、門柱護岸ブロック開き
				水路側壁エフロ、水路側壁ジャンカ、平張コンクリートクラック
	53k700	右岸	今村第二排水樋管	操作室屋根欠損、平張コンクリートクラック
				川裏角落し部からの溶出、水門ガイドの腐食、函内漏水
	55k345	右岸	山口排水樋管	護岸ブロックの開き、門柱と水路壁の開き、ずれ、門柱の隙間
				水路側壁クラック、函内漏水、扉体の塗装劣化、はしごの腐食
				水路洗掘、水路側壁ひび割れ、川裏水路脇の陥没
	61k330	右岸	九日町排水樋管 (九日町排水機場)	水門塗装劣化、管理橋塗装劣化・変形
				堤体の開き
	65k440	右岸	川村第二排水樋管	函内クラック、堤防沈下
				水門塗装劣化
	66k050	右岸	川村排水樋管	操作台欠損、函内クラック、門柱クラック
				はしご腐食、水路内の土砂堆積、管理橋ブロック開き
	72k280	左岸	平良排水樋管	函内漏水・エフロ、函内鉄筋露出(2箇所)、はしご塗装劣化
				函内全体ジャンカ、函体の呑口下部の破損(2箇所)
前川	1k240	右岸	新開町排水樋管	堤体の亀裂、階段工の亀裂・沈下、水路側壁の欠損
				水路蓋欠損、堤体の亀裂、吐出口水路の沈下
	1k310	左岸	中北第一排水樋管	頂版の鉄筋露出・剥落、川表堰柱のひび割れ
	2k120	左岸	中北第二排水樋管	水門塗装劣化、はしご塗装劣化、取付護岸端部より漏水
				函内鉄筋露出、函内ひび割れ、川裏側水路側壁のひび割れ
	4k450	左岸	迎町排水樋管	鉄筋露出
	4k880	左右岸	新前川堰	5号堰上屋の亀裂、左岸取付護岸法面の浮き

点検期間:2021/11/8~2021/12/10

付表1－3 要注意箇所(河道)

項 目		河川名 距離標 左右岸		備考
河道	土砂堆積	球磨川	6k800 ～ 7k800	要注意A
		球磨川	68k800 ～ 69k400	要注意C
		球磨川	70k800 ～ 71k400	要注意C
		球磨川	75k600 ～ 76k600	要注意A
		球磨川	76k800 ～ 77k000	要注意C
		球磨川	78k400 ～ 80k800	要注意A
		球磨川	81k000 ～ 81k200	要注意C
		球磨川	83k400 ～ 84k800	要注意A
		球磨川	87k200 ～ 88k000	要注意A
		球磨川	88k400 ～ 89k000	要注意A
		川辺川	0k000 ～ 0k400	要注意C
		川辺川	0k600 ～ 2k200	要注意A
	河床洗掘	球磨川	2k000 ～ 2k200 右岸	要注意A
		球磨川	3k400 ～ 3k800 右岸	要注意A
		球磨川	4k200 ～ 4k400 右岸	要注意C
		球磨川	5k000 ～ 5k400 左岸	要注意C
		球磨川	5k600 ～ 5k800 右岸	要注意C
		球磨川	6k800 ～ 7k800 右岸	要注意C
		球磨川	16k800 ～ 17k400 右岸	要注意C
		球磨川	24k400 ～ 24k800 左岸	要注意C
		球磨川	70k200 右岸	要注意A
		球磨川	71k000 右岸	要注意C
		球磨川	71k600 ～ 71k800 左岸	要注意C
		球磨川	73k000 ～ 73k200 右岸	要注意C
		球磨川	73k600 ～ 74k000 左岸	要注意C
		球磨川	76k800 ～ 77k200 左岸	要注意C
		球磨川	83k000 右岸	要注意C
		川辺川	1k000 右岸	要注意A
	樹木繁茂	球磨川	6k800 ～ 7k800	要注意C
		球磨川	69k200 ～ 69k400	要注意C
		球磨川	71k200 ～ 71k400	要注意C
		球磨川	79k000 ～ 80k800	要注意A
		球磨川	81k200 ～ 81k600	要注意C
		球磨川	83k400 ～ 84k800	要注意A
		球磨川	87k400 ～ 87k600	要注意C
		川辺川	0k000 ～ 0k400	要注意C
		川辺川	1k000 ～ 1k400	要注意A

付表2 管理目標流量

河川名 管理目標地点距離標		管理目標流量 (m^3/s)	備 考 (設定根拠等)
球磨川	6k000	4,700	球磨川堰 河川整備計画流量相当
	12k800	8,200	横石 河川整備計画流量相当
	52k600	5,400	渡 河川整備計画流量相当
	62k200	3,900	人吉 河川整備計画流量相当
	68k800	2,300	一武 河川整備計画流量相当
前川	4k800	3,500	新前川堰 河川整備計画流量相当
川辺川	2k400	1,500	柳瀬 河川整備計画流量相当

※河川整備計画の目標流量にむけて、段階的に実施される河川改修により確保された流下能力の維持管理に努める。

付表3 管理河床高

河川名	管理目標地点	左右岸	管理河床高(T.P.m)	要注意区分	備考
球磨川	2k000 ～ 2k200	右岸	-3.71 ～ -3.62	要注意A	管理河床高
	3k400 ～ 3k800	右岸	-3.00 ～ -2.80	要注意A	管理河床高
	4k200 ～ 4k400	右岸	-2.59 ～ -2.50	要注意C	管理河床高
	5k000 ～ 5k400	左岸	-2.13 ～ -1.88	要注意C	管理河床高
	5k600 ～ 5k800	右岸	-1.75 ～ -1.62	要注意C	管理河床高
	6k800 ～ 7k800	右岸	-0.40 ～ 1.10	要注意C	管理河床高
	16k800 ～ 17k400	右岸	10.85 ～ 15.78	要注意C	管理河床高
	24k400 ～ 24k800	左岸	29.84 ～ 32.00	要注意C	管理河床高
	70k200	右岸	114.53	要注意A	管理河床高
	71k000	右岸	116.40	要注意C	管理河床高
	71k600 ～ 71k800	左岸	117.89 ～ 118.41	要注意C	管理河床高
	73k000 ～ 73k200	右岸	120.63 ～ 121.03	要注意C	管理河床高
	73k600 ～ 74k000	左岸	122.22 ～ 123.15	要注意C	管理河床高
	76k800 ～ 77k200	左岸	130.44 ～ 131.56	要注意C	管理河床高
	83k000	右岸	148.54	要注意C	管理河床高
川辺川	1k000	右岸	109.96	要注意A	管理河床高

※管理河床高は、既存の護岸基礎高に相当する高さとして設定

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 1/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考		
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)			左岸	右岸
球磨川	球磨川		0.00	3.100	6.200	5.920	6.200	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		0.20	3.170	6.200	6.020	6.200	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		0.40	3.240	6.200	6.200	6.200	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		0.60	3.310	6.200	6.200	6.200	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		0.80	3.380	6.200	6.200	6.200	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		1.00	3.460	6.200	6.090	6.140	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防	
球磨川	球磨川		1.20	3.620	6.200	6.100	6.060	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防	
球磨川	球磨川		1.40	3.780	6.200	6.130	6.200	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		1.60	3.940	6.200	6.170	6.130	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防	
球磨川	球磨川		1.80	4.090	5.590	5.590	5.590	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		2.00	4.250	5.750	5.750	5.750	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		2.20	4.410	5.910	5.910	5.910	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		2.40	4.580	6.080	6.080	6.080	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		2.60	4.750	6.250	6.250	6.250	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		2.80	4.900	6.400	6.400	6.400	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		3.00	5.060	6.560	6.560	6.560	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		3.20	5.230	6.730	6.730	6.730	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		3.40	5.400	6.900	6.900	6.900	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		3.60	5.560	7.060	7.060	7.060	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		3.80	5.730	7.230	7.230	7.230	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		4.00	5.890	7.390	7.390	7.390	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		4.20	6.060	7.560	7.560	7.560	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		4.40	6.210	7.710	7.710	7.710	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		4.60	6.410	7.910	7.910	7.910	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		4.80	6.600	8.100	8.100	8.100	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		5.00	6.800	8.300	8.300	8.300	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		5.20	6.990	8.490	8.490	8.490	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		5.40	7.190	8.690	8.690	8.690	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		5.60	7.390	8.890	8.890	8.890	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		5.80	7.590	9.090	9.090	9.090	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		6.00	7.780	9.280	9.280	9.280	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		6.20	7.980	9.480	9.480	9.480	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		6.40	8.220	9.720	9.720	9.720	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		6.60	8.420	9.920	9.920	9.920	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		6.80	8.620	10.120	10.120	10.120	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		7.00	8.810	10.310	10.310	10.310	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		7.20	9.030	10.530	10.530	10.530	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		7.40	9.250	10.750	10.750	10.750	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		7.60	9.480	10.980	10.980	10.980	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		7.80	9.700	11.200	11.200	11.200	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		8.00	9.920	11.420	11.420	11.420	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		8.20	10.160	11.660	11.660	11.660	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		8.40	10.360	11.860	11.860	11.860	R3	計画堤防	計画堤防	
球磨川	球磨川		8.60	10.590	12.090	12.090	—	R3	計画堤防	山付き	
球磨川	球磨川		8.80	11.060	12.560	—	—	—	山付き	山付き	
球磨川	球磨川		9.00	13.830	15.330	—	—	—	山付き	山付き	
球磨川	球磨川		9.20	14.100	15.600	—	—	—	山付き	山付き	
球磨川	球磨川		9.40	14.320	15.820	—	14.193	R3	山付き	現況堤防	
球磨川	球磨川		9.60	14.610	16.110	—	15.321	R3	山付き	現況堤防	
球磨川	球磨川		9.80	14.880	16.380	—	15.869	R3	山付き	現況堤防	
球磨川	球磨川		10.00	15.150	16.650	整備中	—	—	整備中	山付き	
球磨川	球磨川		10.20	15.420	16.920	整備中	—	—	整備中	山付き	
球磨川	球磨川		10.40	15.700	17.200	整備中	—	—	整備中	山付き	
球磨川	球磨川		10.60	15.960	17.460	整備中	—	—	整備中	山付き	
球磨川	球磨川		10.80	16.210	17.710	整備中	—	—	整備中	山付き	
球磨川	球磨川		11.00	16.490	17.990	整備中	17.990	R3	整備中	計画堤防	
球磨川	球磨川		11.20	16.820	18.320	—	18.320	R3	山付き	計画堤防	
球磨川	球磨川		11.40	17.060	18.560	—	18.560	R3	山付き	計画堤防	
球磨川	球磨川		11.60	17.330	18.830	—	18.830	R3	山付き	計画堤防	
球磨川	球磨川		11.80	17.590	19.090	—	19.090	R3	山付き	計画堤防	

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 2/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		12.00	17.860	19.360	—	19.360	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		12.20	18.120	19.620	—	19.620	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		12.40	18.390	19.890	—	19.890	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		12.60	18.670	20.170	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		12.80	18.920	20.420	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		13.00	19.220	20.720	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		13.20	19.470	20.970	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		13.40	19.770	21.270	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		13.60	20.080	21.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		13.80	20.410	21.910	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		14.00	20.710	22.210	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		14.20	21.070	22.570	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		14.40	21.370	22.870	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		14.60	21.700	23.200	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		14.80	22.030	23.530	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		15.00	22.360	23.860	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		15.20	22.670	24.170	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		15.40	23.000	24.500	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		15.60	23.320	24.820	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		15.80	23.630	25.130	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		16.00	23.970	25.470	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		16.20	24.280	25.780	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		16.40	24.620	26.120	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		16.60	24.970	26.470	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		16.80	25.300	26.800	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		17.00	25.630	27.130	—	27.130	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		17.20	25.970	27.470	27.470	27.470	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		17.40	26.250	27.750	27.750	27.750	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		17.60	26.590	28.090	28.090	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		17.80	26.900	28.400	28.400	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		18.00	27.200	28.700	28.700	28.700	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		18.20	27.530	29.030	29.030	29.030	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		18.40	27.900	29.400	—	29.400	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		18.60	28.240	29.740	—	29.740	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		18.80	28.580	30.080	—	30.080	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		19.00	28.880	30.380	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		19.20	29.250	30.750	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		19.40	29.630	31.130	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		19.60	30.000	31.500	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		19.80	30.290	31.790	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		20.00	30.590	32.090	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		20.20	30.910	32.410	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		20.40	31.230	32.730	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		20.60	31.540	33.040	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		20.80	31.840	33.340	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		21.00	32.180	33.680	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		21.20	32.500	34.000	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		21.40	32.810	34.310	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		21.60	33.130	34.630	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		21.80	33.470	34.970	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		22.00	33.780	35.280	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		22.20	34.100	35.600	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		22.40	34.470	35.970	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		22.60	34.760	36.260	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		22.80	35.080	36.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		23.00	35.410	36.910	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		23.20	35.730	37.230	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		23.40	36.050	37.550	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		23.60	36.410	37.910	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		23.80	36.730	38.230	—	整備中	—	山付き	整備中

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 3/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		24.00	37.070	38.570	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		24.20	37.380	38.880	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		24.40	37.720	39.220	39.220	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		24.60	37.990	39.490	39.490	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		24.80	38.290	39.790	39.790	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		25.00	38.660	40.160	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		25.20	39.000	40.500	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		25.40	39.290	40.790	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		25.60	39.650	41.150	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		25.80	39.960	41.460	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		26.00	40.320	41.820	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		26.20	40.740	42.240	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		26.40	41.180	42.680	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		26.60	41.640	43.140	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		26.80	42.080	43.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		27.00	42.570	44.070	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		27.20	43.040	44.540	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		27.40	43.480	44.980	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		27.60	43.930	45.430	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		27.80	44.410	45.910	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		28.00	44.920	46.420	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		28.20	45.390	46.890	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		28.40	45.890	47.390	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		28.60	46.350	47.850	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		28.80	46.710	48.210	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		29.00	50.050	51.550	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		29.20	50.170	51.670	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		29.40	50.280	51.780	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		29.60	50.400	51.900	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		29.80	50.520	52.020	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		30.00	50.650	52.150	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		30.20	50.770	52.270	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		30.40	50.890	52.390	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		30.60	50.990	52.490	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		30.80	51.110	52.610	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		31.00	51.230	52.730	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		31.20	51.350	52.850	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		31.40	51.480	52.980	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		31.60	51.600	53.100	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		31.80	51.720	53.220	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		32.00	51.840	53.340	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		32.20	51.970	53.470	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		32.40	52.080	53.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		32.60	52.400	53.900	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		32.80	52.750	54.250	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		33.00	53.040	54.540	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		33.20	53.390	54.890	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		33.40	53.710	55.210	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		33.60	54.050	55.550	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		33.80	54.400	55.900	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		34.00	54.680	56.180	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		34.20	55.000	56.500	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		34.40	55.390	56.890	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		34.60	55.720	57.220	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		34.80	56.040	57.540	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		35.00	56.380	57.880	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		35.20	56.720	58.220	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		35.40	57.060	58.560	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		35.60	57.410	58.910	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		35.80	57.750	59.250	—	—	—	山付き	山付き

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 4/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		36.00	58.110	59.610	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		36.20	58.420	59.920	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		36.40	58.740	60.240	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		36.60	59.070	60.570	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		36.80	59.410	60.910	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		37.00	59.820	61.320	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		37.20	60.130	61.630	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		37.40	60.500	62.000	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		37.60	60.880	62.380	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		37.80	61.240	62.740	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		38.00	61.620	63.120	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		38.20	61.980	63.480	整備中	整備中	—	整備中	整備中
球磨川	球磨川		38.40	62.370	63.870	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		38.60	62.680	64.180	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		38.80	63.030	64.530	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		39.00	63.340	64.840	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		39.20	63.660	65.160	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		39.40	63.960	65.460	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		39.60	64.360	65.860	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		39.80	64.730	66.230	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		40.00	65.010	66.510	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		40.20	65.350	66.850	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		40.40	65.630	67.130	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		40.60	65.970	67.470	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		40.80	66.470	67.970	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		41.00	66.770	68.270	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		41.20	67.150	68.650	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		41.40	67.530	69.030	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		41.60	67.990	69.490	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		41.80	68.310	69.810	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		42.00	68.730	70.230	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		42.20	69.190	70.690	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		42.40	69.900	71.400	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		42.60	70.330	71.830	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		42.80	70.910	72.410	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		43.00	71.340	72.840	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		43.20	71.660	73.160	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		43.40	72.120	73.620	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		43.60	72.410	73.910	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		43.80	72.810	74.310	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		44.00	73.190	74.690	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		44.20	73.850	75.350	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		44.40	74.320	75.820	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		44.60	74.670	76.170	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		44.80	74.990	76.490	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		45.00	75.480	76.980	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		45.20	76.070	77.570	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		45.40	76.430	77.930	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		45.60	77.000	78.500	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		45.80	77.480	78.980	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		46.00	77.900	79.400	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		46.20	78.500	80.000	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		46.40	78.990	80.490	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		46.60	79.420	80.920	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		46.80	80.040	81.540	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		47.00	80.480	81.980	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		47.20	80.960	82.460	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		47.40	81.420	82.920	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		47.60	81.830	83.330	—	整備中	—	山付き	整備中
球磨川	球磨川		47.80	82.430	83.930	整備中	—	—	整備中	山付き

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 5/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		48.00	82.870	84.370	整備中	整備中	—	整備中	整備中
球磨川	球磨川		48.20	83.370	84.870	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		48.40	83.830	85.330	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		48.60	84.230	85.730	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		48.80	84.720	86.220	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		49.00	85.260	86.760	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		49.20	85.780	87.280	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		49.40	86.150	87.650	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		49.60	86.520	88.020	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		49.80	87.050	88.550	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		50.00	87.610	89.110	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		50.20	88.080	89.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		50.40	88.500	90.000	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		50.60	89.010	90.510	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		50.80	89.550	91.050	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		51.00	90.080	91.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		51.20	90.500	92.000	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		51.40	90.980	92.480	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		51.60	91.540	93.040	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		51.80	92.050	93.550	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		52.00	92.450	93.950	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		52.20	92.910	94.410	整備中	—	—	整備中	山付き
球磨川	球磨川		52.40	94.090	95.590	—	97.704	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		52.60	94.500	96.000	—	96.000	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		52.80	94.660	96.160	—	96.160	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		53.00	94.830	96.330	—	96.330	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		53.20	95.000	96.500	—	96.500	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		53.40	95.140	96.640	—	96.640	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		53.60	95.340	96.840	—	96.840	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		53.80	95.520	97.020	—	97.020	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		54.00	95.690	97.190	—	97.190	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		54.20	95.870	97.370	—	97.370	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		54.40	96.050	97.550	—	97.550	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		54.60	96.230	97.730	—	97.730	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		54.80	96.380	97.880	—	97.880	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		55.00	96.550	98.050	—	98.050	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		55.20	96.730	98.230	98.230	98.230	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		55.40	96.910	98.410	98.410	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		55.60	97.070	98.570	98.570	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		55.80	97.250	98.750	98.750	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		56.00	97.430	98.930	98.930	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		56.20	97.590	99.090	99.090	99.090	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		56.40	97.750	99.250	99.250	99.250	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		56.60	97.930	99.430	99.430	99.430	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		56.80	98.100	99.600	—	99.600	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		57.00	98.360	99.860	99.860	99.860	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		57.20	98.590	100.090	99.561	100.090	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		57.40	98.830	100.330	99.700	100.330	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		57.60	99.080	100.580	100.000	100.580	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		57.80	99.320	100.820	100.188	100.820	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		58.00	99.590	101.090	101.090	101.090	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		58.20	99.840	101.340	101.340	101.340	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		58.40	100.070	101.570	101.570	101.570	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		58.60	100.290	101.790	101.119	101.790	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		58.80	100.530	102.030	101.210	102.030	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		59.00	100.750	102.250	101.930	102.250	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		59.20	100.960	102.460	102.321	102.460	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		59.40	101.230	102.730	102.730	102.730	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		59.60	101.430	102.930	—	102.930	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		59.80	101.650	103.150	103.150	103.150	R3	計画堤防	計画堤防

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 6/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		60.00	101.910	103.410	103.410	103.410	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		60.20	102.200	103.700	103.700	103.700	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		60.40	102.540	104.040	104.040	104.040	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		60.60	102.890	104.390	104.390	104.390	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		60.80	103.210	104.710	104.710	104.710	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		61.00	103.540	105.040	105.040	105.040	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		61.20	103.930	105.430	105.430	105.430	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		61.40	104.280	105.780	105.780	105.780	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		61.60	104.600	106.100	106.100	106.100	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		61.80	104.980	106.480	106.480	106.480	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		62.00	105.290	106.790	106.790	106.790	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		62.20	105.730	107.230	—	107.230	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		62.40	106.120	107.620	—	107.620	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		62.60	106.480	107.980	—	107.980	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		62.80	106.920	108.420	107.898	108.420	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		63.00	107.340	108.840	108.840	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		63.20	107.780	109.280	109.280	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		63.40	108.240	109.740	109.740	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		63.60	108.780	110.280	110.280	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		63.80	109.300	110.800	110.217	110.800	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		64.00	109.760	111.260	111.507	111.260	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		64.20	110.100	111.600	—	111.477	R3	山付き	現況堤防
球磨川	球磨川		64.40	110.370	111.870	—	111.870	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		64.60	110.680	112.180	118.007	112.097	R3	計画堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		64.80	110.990	112.490	112.490	112.490	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		65.00	111.420	112.920	112.920	112.920	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		65.20	111.800	113.300	113.300	113.300	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		65.40	112.190	113.690	113.096	113.690	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		65.60	112.570	114.070	—	114.070	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		65.80	113.040	114.540	—	114.540	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		66.00	113.480	114.980	—	114.980	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		66.20	113.890	115.390	—	115.390	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		66.40	114.250	115.750	—	115.750	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		66.60	114.630	116.130	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		66.80	115.060	116.560	116.560	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		67.00	115.530	117.030	117.030	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		67.20	116.000	117.500	117.500	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		67.40	116.290	117.790	117.790	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		67.60	116.720	118.220	118.220	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		67.80	117.060	118.560	118.560	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		68.00	117.380	118.880	118.880	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		68.20	117.710	119.210	119.210	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		68.40	118.060	119.560	119.560	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		68.60	118.480	119.980	119.980	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		68.80	118.910	120.410	120.410	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		69.00	119.330	120.830	120.830	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		69.20	119.790	121.290	121.290	121.290	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		69.40	120.230	121.730	121.730	121.730	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		69.60	120.610	122.110	122.110	122.110	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		69.80	120.980	122.480	122.480	122.480	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		70.00	121.330	122.830	122.830	122.830	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		70.20	121.710	123.210	123.210	123.210	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		70.40	122.080	123.580	123.580	123.580	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		70.60	122.580	124.080	124.080	124.080	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		70.80	122.940	124.440	124.440	124.440	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		71.00	123.350	124.850	124.850	124.850	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		71.20	123.850	125.350	125.350	125.350	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		71.40	124.310	125.810	125.810	125.810	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		71.60	124.840	126.340	126.340	126.340	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		71.80	125.360	126.860	126.860	126.860	R3	計画堤防	計画堤防

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 7/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		72.00	125.870	127.370	127.370	127.370	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		72.20	126.200	127.700	127.700	127.700	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		72.40	126.550	128.050	128.050	128.050	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		72.60	126.870	128.370	128.370	128.370	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		72.80	127.240	128.740	128.740	128.740	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		73.00	127.580	129.080	129.080	129.080	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		73.20	127.980	129.480	129.480	129.480	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		73.40	128.600	130.100	130.100	130.100	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		73.60	129.200	130.700	130.700	130.700	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		73.80	129.610	131.110	131.110	131.110	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		74.00	130.150	131.650	131.650	131.650	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		74.20	130.770	132.270	132.270	132.270	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		74.40	131.190	132.690	132.690	132.690	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		74.60	131.620	133.120	133.120	133.120	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		74.80	132.200	133.700	133.700	133.700	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		75.00	132.710	134.210	134.210	134.210	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		75.20	133.220	134.720	134.720	134.720	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		75.40	133.780	135.280	135.280	135.280	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		75.60	134.280	135.780	135.780	135.780	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		75.80	134.730	136.230	136.230	136.230	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		76.00	135.410	136.910	136.910	136.910	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		76.20	135.950	137.450	137.450	137.450	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		76.40	136.630	138.130	138.130	138.130	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		76.60	137.130	138.630	138.630	138.630	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		76.80	137.580	139.080	139.080	139.080	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		77.00	138.130	139.630	139.630	139.630	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		77.20	138.710	140.210	140.210	140.210	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		77.40	139.170	140.670	140.670	140.670	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		77.60	139.590	141.090	141.090	141.090	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		77.80	140.140	141.640	141.640	141.640	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		78.00	140.690	142.190	142.190	142.190	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		78.20	141.210	142.710	142.710	142.710	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		78.40	142.780	144.280	144.280	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		78.60	143.080	144.580	144.580	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		78.80	143.420	144.920	145.066	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		79.00	143.710	145.210	145.210	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		79.20	144.120	145.620	145.620	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		79.40	144.740	146.240	146.240	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		79.60	145.110	146.610	146.610	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		79.80	145.470	146.970	146.970	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		80.00	145.850	147.350	147.350	147.350	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		80.20	146.420	147.920	147.920	147.920	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		80.40	146.910	148.410	148.410	148.410	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		80.60	147.490	148.990	148.990	148.990	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		80.80	147.930	149.430	149.430	149.430	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		81.00	148.600	150.100	150.100	150.100	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		81.20	149.220	150.720	150.720	150.720	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		81.40	149.860	151.360	151.360	151.360	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		81.60	150.510	152.010	152.010	152.010	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		81.80	151.150	152.650	152.650	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		82.00	151.760	153.260	153.260	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		82.20	152.480	153.980	153.980	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		82.40	153.140	154.640	154.640	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		82.60	153.860	155.360	155.360	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		82.80	154.560	156.060	156.060	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		83.00	155.250	156.750	156.750	—	R3	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		83.20	155.880	157.380	157.380	157.380	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		83.40	156.470	157.970	157.970	157.970	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		83.60	157.130	158.630	158.630	158.630	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		83.80	157.760	159.260	159.260	159.260	R3	計画堤防	計画堤防

付表4 堤防管理目標高

(球磨川 8/8)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川		84.00	158.390	159.890	159.890	159.890	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		84.20	159.070	160.570	160.570	160.570	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		84.40	159.730	161.230	161.230	161.230	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		84.60	160.320	161.820	161.820	161.820	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		84.80	161.020	162.520	162.279	162.520	R3	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		85.00	161.680	163.180	163.180	163.180	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		85.20	162.340	163.840	163.840	163.840	R3	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		85.40	165.920	167.420	164.378	165.587	R3	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		85.60	166.800	168.300	165.277	165.188	R3	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		85.80	167.660	169.160	165.637	164.286	R3	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		86.00	168.610	170.110	165.536	165.606	R3	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		86.20	169.400	170.900	169.676	166.426	R3	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		86.40	170.380	171.880	171.186	—	R3	現況堤防	山付き
球磨川	球磨川		86.60	172.280	173.780	—	174.336	R3	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川		86.80	172.820	174.320	—	171.645	R2(ALB)	山付き	現況堤防
球磨川	球磨川		87.00	173.360	174.860	—	172.456	R2(ALB)	山付き	現況堤防
球磨川	球磨川		87.20	173.880	175.380	—	174.107	R2(ALB)	山付き	現況堤防
球磨川	球磨川		87.40	174.390	175.890	175.890	—	R2(ALB)	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		87.60	175.030	176.530	176.530	—	R2(ALB)	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		87.80	175.580	177.080	177.080	—	R2(ALB)	計画堤防	山付き
球磨川	球磨川		88.00	176.080	177.580	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		88.20	177.090	178.590	178.590	174.816	R2(ALB)	計画堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		88.40	178.130	179.630	179.630	177.945	R2(ALB)	計画堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		88.60	179.190	180.690	180.690	180.690	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		88.80	180.120	181.620	181.620	181.620	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		89.00	181.180	182.680	182.449	182.182	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		89.20	182.060	183.560	183.560	185.544	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		89.40	183.000	184.500	182.849	183.943	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		89.60	184.050	185.550	184.980	185.319	R2(ALB)	現況堤防	現況堤防
球磨川	球磨川		89.80	185.140	186.640	186.414	186.640	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		90.00	186.100	187.600	187.464	187.600	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		90.20	187.150	188.650	188.650	188.650	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		90.40	188.200	189.700	189.700	189.700	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		90.60	189.250	190.750	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		90.80	190.900	192.400	191.955	192.400	R2(ALB)	現況堤防	計画堤防
球磨川	球磨川		91.00	192.610	194.110	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		91.20	193.850	195.350	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		91.40	195.600	197.100	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		91.60	196.960	198.460	—	—	—	山付き	山付き
球磨川	球磨川		91.80	198.620	200.120	—	—	—	山付き	山付き

付表4 堤防管理目標高

(前川 1/1)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川	前川	0.80	2.460	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	1.00	2.620	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	1.20	2.780	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	1.40	2.930	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	1.60	3.100	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	1.80	3.260	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	2.00	3.420	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	2.20	3.580	5.080	5.080	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	2.40	3.730	5.230	5.230	5.230	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	2.60	3.880	5.380	5.380	5.380	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	2.80	4.020	5.520	5.520	5.520	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	3.00	4.160	5.660	5.660	5.660	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	3.20	4.300	5.800	5.800	5.800	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	3.40	4.460	5.960	5.960	5.960	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	3.60	4.620	6.120	6.120	6.120	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	3.80	4.790	6.290	6.290	6.290	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	4.00	4.960	6.460	6.460	6.460	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	4.20	5.120	6.620	6.620	6.620	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	4.40	5.290	6.790	6.790	6.790	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	4.60	5.450	6.950	6.950	6.950	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	前川	4.80	5.610	7.110	7.110	7.110	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防

(南川 1/1)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川	南川	1.00	2.520	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	1.20	2.560	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	1.40	2.620	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	1.60	2.680	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	1.80	2.720	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	2.00	2.780	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	2.20	2.840	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	2.40	2.890	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	2.60	2.950	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防
球磨川	球磨川	南川	2.80	3.000	5.000	5.000	5.000	R2(ALB)	計画堤防	計画堤防

(川辺川 1/1)

水系名	河川名		主法線部	H.W.L (m)	計画堤防高 (m)	堤防管理目標高		測量 年度	備考	
	本川	支川	距離標			左岸 (m)	右岸 (m)		左岸	右岸
球磨川	球磨川	川辺川	0.60	115.830	117.330	整備中	117.330	R2(ALB)	整備中	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	0.80	116.340	117.840	整備中	117.840	R2(ALB)	整備中	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	1.00	116.820	118.320	整備中	118.320	R2(ALB)	整備中	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	1.20	117.330	118.830	整備中	118.830	R2(ALB)	整備中	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	1.40	117.840	119.340	整備中	119.340	R2(ALB)	整備中	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	1.60	118.320	119.820	山付き	119.820	R2(ALB)	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	1.80	118.800	120.300	山付き	120.300	R2(ALB)	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	2.00	119.390	120.890	山付き	120.890	R2(ALB)	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	2.20	119.980	121.480	山付き	121.480	R2(ALB)	山付き	計画堤防
球磨川	球磨川	川辺川	2.40	120.580	122.080	山付き	122.080	R2(ALB)	山付き	計画堤防

付表5 床止め

河川名	施設名	位置	備考
球磨川	八の字堰	8k750	

付表6 堰、樋門、排水機場

付表6－1 堰

河川名	施設名	位置	堰長	ゲート天端高(T.P. m)	備考
球磨川	球磨川堰	6k000	212.5 m	T.P. 4. 0m	
	旧前川堰	6k300 右岸	322.0 m	－	固定堰
前川	新前川堰	4K880	202.0 m	T.P. 3. 5m	
南川	八ノ字堰	2k810	44.0 m	－	固定堰

付表6-2 樋門・樋管

河川名	施設名	位置		樋管断面 H×B×連数	備考
		距離標	左右岸		
球磨川	弥次排水樋管	1k390	右岸	1.30 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	植柳排水樋管	2k180	左岸	φ 0.90 m × 1 連	
球磨川	中川原排水樋管	2k860	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	植柳第二排水樋管	3k550	左岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	麦島排水樋管	4k000	右岸	1.25 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	豊原排水樋管	6k240	左岸	1.50 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	小川第一排水樋管	10k920	右岸	1.25 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	今泉排水樋管	11k013	左岸	3.00 m × 3.00 m × 1 連	ゲートなし(暗渠)
球磨川	小川第二排水樋管	11k050	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	小川第三排水樋管	11k093	右岸	φ 0.60 m × 1 連	
球磨川	段排水樋管	11k612	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	横石第一排水樋管	11k856	右岸	1.75 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	横石第二排水樋管	12k055	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	横石第三排水樋管	12k240	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	合志野第一排水樋管	17k185	左岸	1.25 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	合志野第二排水樋管	17k700	左岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	合志野第三排水樋管	18k020	左岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	藤本排水樋管	18k125	右岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	大門排水樋管	18k498	右岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	荒瀬上流排水樋管	19k390	左岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	西鎌瀬排水樋管	24k870	左岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	神瀬排水樋管	36k900	右岸	2.00 m × 1.75 m × 1 連	ゲートなし(暗渠)
球磨川	舟戸排水樋管	52k625	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	渡第二排水樋管	52k965	右岸	1.75 m × 1.75 m × 1 連	
球磨川	渡第三排水樋管	53k290	右岸	φ 1.00 m × 1 連	
球磨川	今村第一排水樋管	53k400	右岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	今村第二排水樋管	53k700	右岸	3.00 m × 2.75 m × 1 連	
球磨川	地下第二排水樋管	54k380	右岸	1.50 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	地下排水樋管	54k940	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	大柿排水樋管	55k070	左岸	2.25 m × 2.00 m × 2 連	
球磨川	山口排水樋管	55k345	右岸	3.00 m × 2.50 m × 1 連	
球磨川	八久保排水樋管	56k340	右岸	2.25 m × 2.25 m × 1 連	
球磨川	釜場排水樋管	57k350	右岸	1.75 m × 1.75 m × 1 連	
球磨川	小柿第一排水樋管	57k548	左岸	2.25 m × 2.50 m × 1 連	
球磨川	小柿第二排水樋管	57k833	左岸	1.25 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	出水川排水樋管	57k915	右岸	2.75 m × 2.50 m × 1 連	
球磨川	福川排水樋管	58k290	右岸	3.20 m × 5.00 m × 2 連	
球磨川	戸越第一排水樋管	58k559	左岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	下薩摩瀬排水樋管	58k940	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	薩摩瀬排水樋管	59k120	右岸	φ 0.70 m × 1 連	
球磨川	上薩摩瀬排水樋管	59k310	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	戸越第二排水樋管	59k337	左岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	相良第一排水樋管	59k655	右岸	φ 1.00 m × 1 連	
球磨川	相良第二排水樋管	60k000	右岸	φ 0.60 m × 1 連	
球磨川	矢黒第二排水樋管	60k025	左岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	相良排水樋管	60k220	右岸	2.25 m × 2.25 m × 1 連	
球磨川	矢黒排水樋管	60k415	左岸	1.50 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	下青井排水樋管	60k754	右岸	φ 0.60 m × 1 連	
球磨川	上青井排水樋管	61k009	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	老神排水樋管	61k180	左岸	2.50 m × 2.50 m × 2 連	
球磨川	下新町排水樋管	62k325	右岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	上新町排水樋管	62k610	右岸	φ 1.00 m × 1 連	
球磨川	川村第四排水樋管	63k765	右岸	2.25 m × 2.25 m × 1 連	
球磨川	川村第二排水樋管	65k440	右岸	2.50 m × 2.75 m × 1 連	
球磨川	川村第三排水樋管	65k675	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	川村排水樋管	66k050	右岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	柳詰排水樋管	66k880	左岸	2.50 m × 2.75 m × 2 連	
球磨川	西村排水樋管	68k410	左岸	2.05 m × 1.50 m × 2 連	
球磨川	十日市排水樋管	69k190	右岸	3.00 m × 3.60 m × 2 連	
球磨川	平岩排水樋管	69k875	左岸	3.00 m × 2.75 m × 1 連	
球磨川	平良排水樋管	72k280	左岸	1.20 m × 1.80 m × 2 連	
球磨川	木上排水樋管	72k425	右岸	2.00 m × 3.00 m × 3 連	
球磨川	平野排水樋管	72k850	左岸	2.50 m × 2.35 m × 3 連	
球磨川	梅木排水樋管	73k375	右岸	2.50 m × 2.25 m × 2 連	
球磨川	風呂ノ前排水樋管	73k817	左岸	2.50 m × 2.50 m × 1 連	

付表6-2 樋門・樋管

河川名	施設名	位置		樋管断面 H×B×連数	備考
		距離標	左右岸		
球磨川	六川排水樋管	74k450	左岸	3.25 m × 3.25 m × 2 連	
球磨川	下津留排水樋管	75k175	左岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	古町排水樋管	75k390	右岸	φ 0.60 m × 1 連	
球磨川	下里排水樋管	75k600	右岸	φ 0.80 m × 1 連	
球磨川	向町排水樋管	76k085	左岸	φ 0.60 m × 1 連	
球磨川	深田第一排水樋管	76k100	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	深田排水樋管	76k375	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	荒金排水樋管	76k580	左岸	2.75 m × 3.00 m × 2 連	
球磨川	富田第二排水樋管	76k960	左岸	1.20 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	富田排水樋管	77k160	左岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	井ノ口排水樋管	77k620	左岸	φ 1.00 m × 1 連	
球磨川	庄屋第二排水樋管	77k835	左岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	庄屋第一排水樋管	78k010	右岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
球磨川	庄屋第三排水樋管	78k260	左岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	伊賀川排水樋管	79k040	左岸	2.30 m × 2.30 m × 2 連	
球磨川	中島排水樋管	79k320	左岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	中島第一排水樋管	80k200	右岸	φ 0.80 m × 1 連	
球磨川	牛島第二排水樋管	80k615	左岸	φ 1.00 m × 1 連	
球磨川	中島第二排水樋管	80k620	右岸	1.75 m × 1.75 m × 1 連	
球磨川	牛島第一排水樋管	81k205	左岸	1.75 m × 1.75 m × 2 連	
球磨川	中島第三排水樋管	81k700	右岸	φ 0.80 m × 1 連	
球磨川	牛島排水樋管	82k080	左岸	φ 0.70 m × 1 連	
球磨川	下鶴排水樋管	82k539	左岸	2.75 m × 3.00 m × 2 連	
球磨川	黒肥地第四排水樋管	83k340	右岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
球磨川	黒肥地第三排水樋管	84k620	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
球磨川	黒肥地第二排水樋管	85k330	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
球磨川	西園排水樋管	88k850	右岸	2.00 m × 1.75 m × 1 連	
前川	新開町第一排水樋管	0k654	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
前川	新開町第二排水樋管	0k822	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
前川	新開町第三排水樋管	0k966	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	
前川	新開町排水樋管	1k240	右岸	φ 0.80 m × 1 連	
前川	中北第一排水樋管	1k310	左岸	2.00 m × 1.80 m × 2 連	
前川	中北第二排水樋管	2k120	左岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
前川	古城排水樋管	2k570	左岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	
前川	本町排水樋管	3k320	右岸	φ 0.70 m × 1 連	
前川	前川排水樋管	3k380	左岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
前川	迎町排水樋管	4k450	左岸	φ 1.10 m × 1 連	
前川	野上排水樋管	6k350	右岸	φ 0.70 m × 1 連	
南川	南川排水樋管	1k840	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	
南川	葭牟田排水樋管	2k075	左岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	
川辺川	西村第二排水樋管	0k115	右岸	φ 1.00 m × 1 連	
川辺川	八田排水樋管	0k545	右岸	φ 1.00 m × 1 連	
川辺川	新村排水樋管	1k090	右岸	φ 0.90 m × 1 連	
川辺川	原園排水樋管	1k875	右岸	1.25 m × 1.25 m × 1 連	

付表6－3 排水機場

河川名	施設名	位置		排水量 (m3/s)	備考
		距離標	左右岸		
球磨川	九日町排水機場	61k330	右岸	3.0	1.5 (m3/s) × 2台

付表6－4 排水施設

河川名	施設名	位置		排水量 (m3/s)	備考
		距離標	左右岸		
球磨川	舟戸排水施設	52k630	右岸	0.5	水中ポンプ (口径200mm) × 6台
球磨川	渡排水施設	52k970	右岸	1.0	水中渦巻斜流ポンプ (口径350mm) × 2台 水中ポンプ (口径200mm) × 6台
球磨川	今村排水施設	53k750	右岸	2.5	水中渦巻斜流ポンプ (口径500mm) × 2台 水中ポンプ (口径200mm) × 18台

付表7 陸閘

河川名	施設名	位置		備考
		距離標	左右岸	
球磨川	鼠蔵町第1号陸閘	0K948	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第2号陸閘	0K955	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第3号陸閘	1K028	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第4号陸閘	1K119	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第5号陸閘	1K125	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第6号陸閘	1K169	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第7号陸閘	1K194	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第8号陸閘	1K248	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第9号陸閘	1K254	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第10号陸閘	0k000	右岸	スウイング式 手動
球磨川	鼠蔵町第11号陸閘	0k750	右岸	スウイング式 手動
球磨川	大門陸閘	18k700	右岸	スウイング式 手動
前川	新開町第一号陸閘	1K000	右岸	引き戸式 手動
前川	新開町第二号陸閘	1K075	右岸	引き戸式 手動
前川	新開町第三号陸閘	1K118	右岸	引き戸式 手動
前川	新開町第四号陸閘	1K124	右岸	引き戸式 手動

付表8 親水施設等

河川名	距離標	左右岸	施設名	主な設備等	備考
球磨川	6k000 ～ 8k600	左岸	球磨川河川緑地 (高水敷)	広場、散策路、 せせらぎ水路等	占用者:八代市
球磨川	8k600 ～ 8k900	左岸	遙拝八の字広場 (高水敷)	キャンプ場等	占用者:八代市
			新萩原橋周辺地区 かわまちづくり	親水護岸、管理用通路、 階段、坂路	八代市
球磨川	29k000	左岸	川のとつとつと館	魚道観察施設	芦北町
球磨川	45k600 ～ 45k900	左岸	低水護岸・管理用通路	船着場、散策路等	球磨村
			淋地区かわまちづくり		
球磨川	61k400 ～ 62k200	右岸	低水護岸・管理用通路	散策路	人吉市
球磨川	75k200 ～ 75k600	左岸	向町河川公園 (高水敷)	広場	占用者:あさぎり町
球磨川	79k000 ～ 80k200	左岸	中島親水公園 (高水敷)	広場	占用者:あさぎり町
前川	2k120 ～ 2k700	右岸	川の交流広場 (管理用通路)	広場、散策路	占用者:八代市

付表9 水文・水理観測施設

付表9-1 雨量観測所

河川名	観測所名	所在地	種別	備考
球磨川	八代	八代市萩原町	テレ、自記、ロガー	
万江川	大川内	球磨郡山江村万江	テレ、自記、ロガー	
小川	大槻	球磨郡球磨村神瀬字大槻	テレ、自記、ロガー	
球磨川	神瀬	球磨郡球磨村神瀬字桜谷	テレ、自記、ロガー	
芋川	岳本	球磨郡球磨村一勝地字岳本	テレ、自記、ロガー	
球磨川	人吉	人吉市願成寺町	テレ、自記、ロガー	
胸川	田野	人吉市田野町字泉水松	テレ、自記、ロガー	
小さで川	田代川間	人吉市段塔町大畑	テレ、自記、ロガー	
球磨川	多良木	球磨郡多良木町大字中鶴	テレ、自記、ロガー	
柳橋川	黒原	球磨郡多良木町大字久米	テレ、自記、ロガー	
小椎川	宮ヶ野	球磨郡多良木町大字宮ヶ野	テレ、自記、ロガー	

付表9－2 水位・流量観測所

河川名	観測所名	位 置		観測項目	種別	水位計の種類	備 考
		河口からの距離	所在地				
球磨川	金剛	0/970	八代市鼠蔵町	水位	テレ、自記、ロガー	(主)フロート式 (副)超音波式	
球磨川	柳橋	4/420	八代市千反町	水位	自記、ロガー	(主)電波式	
球磨川	萩原	6/660	八代市萩原町	水位	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)電波式	
球磨川	横石	12/770	八代市坂本町	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)水晶水圧式	
球磨川	大野	39/860	球磨郡球磨村大字神瀬	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)電波式	
球磨川	渡	52/640	球磨郡球磨村大字三ヶ浦	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)水晶水圧式	
球磨川	人吉	62/170	人吉市七日町	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)水晶水圧式	
球磨川	一武	68/710	球磨郡錦町大字木上西	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)水晶水圧式	
球磨川	多良木	84/130	球磨郡多良木町大字中鶴	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)電波式	
前川	前川	3/155	八代市本町	水位	自記、ロガー	(主)超音波式	
川辺川	柳瀬	球磨川合流点から2/270	球磨郡相良村柳瀬	水位・流量	テレ、自記、ロガー	(主)水晶水圧式 (副)フロート式	

付表9－3 地下水位観測所

観測所名	所在地	備考
人吉九電	人吉市五日町(九州電力人吉営業所敷地内)	フロート式(自記、ロガー)

付表10 河川環境区間設定(代表区間、保全区間)

河川名	区間	代表区間	保全区間	備考
球磨川	下流部(河口部) 0k～2k	0k付近	0k付近	
	下流部 2k～9k	8k付近	2k付近	
	中流部 9k～53k	15k付近	42k付近	
	上流部(人吉市街部) 53k～74k	61k付近	66k付近	
	上流部 74k～91k	77k付近	79k付近	

※調査期間:平成24年～令和元年

付表11 流量観測の実施目安

河川名	流量観測所名	目安とする 観測所地点	項 目	目安とする水位 (高水時)	備考
球磨川	横石	萩原	高水・低水	2. 00m	水防団待機水位
	大野	大野	高水・低水	6. 50m	水防団待機水位
	渡	渡	高水・低水	5. 00m	水防団待機水位
	人吉	人吉	高水・低水	2. 00m	水防団待機水位
	一武	一武	高水・低水	3. 50m	水防団待機水位
	多良木	多良木	高水・低水	2. 00m	水防団待機水位
南川	高田	高田	高水・低水	T. P. 4. 2m	但し、干潮時
前川	前川	前川	高水・低水	T. P. 4. 2m	但し、干潮時
川辺川	柳瀬	柳瀬	高水・低水	5. 00m	水防団待機水位

※高田と前川は同時流量観測を行う

付表12 水質調査内容

河川名	地点名	測定項目	測定頻度	備考
球磨川	多良木	生活環境項目	4回／年	環境基準類型A
	人吉	生活環境項目	4回／年	環境基準類型A
	西瀬橋	生活環境項目 健康項目	1回／月 1回／2年	環境基準類型A
	天狗橋	生活環境項目	4回／年	環境基準類型A
	横石	生活環境項目 健康項目	1回／月 1回／年	環境基準類型A
	萩原橋	生活環境項目	4回／年	環境基準類型A
	金剛橋	生活環境項目	1回／月	環境基準類型A
前川	前川橋	生活環境項目 健康項目	1回／月 1回／2年	環境基準類型A

※健康項目は西瀬橋と前川橋で1年ずつ交互に測定している。

付表13 洪水痕跡調査、測量、巡視、点検の実施目安

付表13-1 洪水痕跡調査の実施目安

河川名	受け持ち区間	目安とする観測所地点	目安とする水位	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	4. 40m	避難判断水位
	9k000～42k800	大野	10. 90m	避難判断水位
	42k800～57k600	渡	7. 60m	避難判断水位
	57k600～66k600	人吉	3. 20m	避難判断水位
	66k600～76k200	一武	4. 40m	避難判断水位
	76k200～91k800	多良木	3. 60m	避難判断水位

付表13-2 臨時測量実施の目安

河川名	受け持ち区間	目安とする観測所地点	目安とする水位	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	4. 40m	避難判断水位
	9k000～42k800	大野	10. 90m	避難判断水位
	42k800～57k600	渡	7. 60m	避難判断水位
	57k600～66k600	人吉	3. 20m	避難判断水位
	66k600～76k200	一武	4. 40m	避難判断水位
	76k200～91k800	多良木	3. 60m	避難判断水位

付表13-3 洪水時巡視の実施目安

河川名	受け持ち区間	目安とする観測所地点	目安とする水位	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	3. 50m	氾濫注意水位
	9k000～42k800	大野	8. 00m	氾濫注意水位
	42k800～57k600	渡	6. 00m	氾濫注意水位
	57k600～66k600	人吉	3. 00m	氾濫注意水位
	66k600～76k200	一武	4. 30m	氾濫注意水位
	76k200～91k800	多良木	3. 50m	氾濫注意水位

付表13－4 出水後点検の実施目安

河川名		受け持ち区間	目安とする観測 所地点	目安とする水位	備考
球磨川	堤防	0k000～9k000	萩原	3. 50m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				
	堤防	9k000～42k800	大野	8. 00m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				
	堤防	42k800～57k600	渡	6. 00m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				
	堤防	57k600～66k600	人吉	3. 00m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				
	堤防	66k600～76k200	一武	4. 30m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				
	堤防	76k200～91k800	多良木	3. 50m	氾濫注意水位
	河川管理施設				平均年最大流量 を超過
	河道				

付表14 近年の洪水痕跡調査年月

河川名	対象区間	目安とする観測所地点	最新調査年月日	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	平成20年6月	0k000～5k000
			平成23年6月	5k000～6k000
			令和2年7月	6k000～9k000
	9k000～26k100	大野	令和2年7月	9k000～9k800
			平成23年6月	9k800～18k400
			平成30年7月	18k400～26k100
	26k100～42k800		平成30年7月	
	42k800～57k600	渡	平成30年7月	42k800～50k600
			令和2年7月	47k800～50k600
			令和4年9月	50k600～57k600
	57k600～66k600	人吉	令和4年9月	
	66k600～76k200	一武	令和4年9月	66k600～67k000
			平成30年7月	67k000～76k200
前川	0k000～4k800	前川	平成20年6月	
			平成20年6月	
南川	0k800～2k800	—	平成20年6月	
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	平成30年7月	
			令和2年7月	1k800～2k400

付表15 過去の航空斜め写真撮影(洪水時または洪水直後)

河川名	対象区間	目安とする観測所地点	最新調査年月	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	令和2年7月	洪水後
	9k000～42k800	大野	令和2年7月	洪水後
	42k800～57k600	渡	令和2年7月	洪水後
	57k600～66k600	人吉	令和2年7月	洪水後
	66k600～76k200	一武	令和2年7月	洪水後
	76k200～91k800	多良木	令和2年7月	洪水後
前川	0k000～4k800	前川	令和2年7月	洪水後
南川	0k800～2k800	—	令和2年7月	洪水後
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	令和2年7月	洪水後

付表16 過去の縦横断測量年月

河川名	対象区間	目安とする観測所地点	最新測量年月	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	令和2年10月	0k000～3k800
			令和3年11月	4k000～9k000
	9k000～42k800	大野	令和3年11月	
	42k800～57k600	渡	令和3年11月	
	57k600～66k600	人吉	令和3年11月	
	66k600～76k200	一武	令和3年11月	
	76k200～91k800	多良木	令和3年11月	76k200～86k600
			令和2年10月	86k800～91k800
前川	0k000～4k800	前川	令和2年10月	
南川	0k800～2k800	—	令和2年10月	
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	令和2年10月	

付表17 過去の空中写真測量年月

河川名	対象区間	目安とする観測所地点	最新測量年月	図化の有無	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	令和4年12月	有	
	9k000～42k800	大野	令和4年12月	有	
	42k800～57k600	渡	令和4年12月	有	
	57k600～66k600	人吉	令和4年12月	有	
	66k600～76k200	一武	令和4年12月	有	
	76k200～91k800	多良木	令和4年12月	有	
前川	0k000～4k800	前川	令和4年12月	有	
南川	0k800～2k800	—	令和4年12月	有	
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	令和4年12月	有	

付表18 過去の河床材料調査年月

河川名	対象区間	目安とする観測所	最新調査年月	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	令和3年3月	
	9k000～42k800	大野		
	42k800～57k600	渡		
	57k600～66k600	人吉		
	66k600～76k200	一武		
	76k200～91k800	多良木		
前川	0k000～4k800	前川	令和3年5月	
南川	0k800～2k800	—		
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	令和3年5月	

付表19 過去の河道内樹木調査・砂州調査年月 ※過去の航空斜め写真撮影(平常時)

河川名	対象区間	目安とする観測所	最新調査年月	備考
球磨川	0k000～9k000	萩原	令和5年1月	
	9k000～42k800	大野	令和5年1月	
	42k800～57k600	渡	令和5年1月	
	57k600～66k600	人吉	令和5年1月	
	66k600～76k200	一武	令和5年1月	
	76k200～91k800	多良木	令和5年1月	
前川	0k000～4k800	前川	令和5年1月	
南川	0k800～2k800	—	令和5年1月	
川辺川	0k000～2k400	柳瀬	令和5年1月	

付表20 河川水辺の国勢調査

調査種別	河川名	最新調査年度	備考
魚類	球磨川	令和5年度	
底生動物		令和元年度	
植物		平成28年度	
両生類・爬虫類・哺乳類		令和3年度	
陸上昆虫類		平成27・28年度	
鳥類		平成30年度	
河川環境基図		令和4年度	
空間利用実態調査		令和元年度	

付表21 地震後の点検の実施目安

目安の観測所	河川名	受け持ち区間	備考
八代市平山新町(気)	球磨川	0k000～12k800	八代出張所管内 (河口～横石)
八代市坂本町		6k600～28k800	八代出張所管内 (新萩原橋～瀬戸石ダム)
球磨村渡	球磨川	28k800～57k600	八代・人吉出張所管内 (瀬戸石ダム～万江川合流点)
人吉市西間下町(気)		57k600～69k600	人吉出張所管内 (万江川合流点～錦大橋)
相良村深水	川辺川	0k000～2k400	人吉出張所管内 (川辺川合流点～柳瀬橋)
熊本県錦町一武	球磨川	69k600～74k800	人吉出張所管内 (錦大橋～古町橋)
あさぎり町免田東		74k800～80k000	人吉出張所管内 (古町橋～中島橋)
多良木町多良木(気)		80k000～91k800	人吉出張所管内 (中島橋～上流)
湯前町役場			
水上村岩野			

付表22 機械設備の点検

付表22-1 ゲート①

河川名	施設名	位置		点検区分				備考
		距離標	左右岸	月点検	年点検 (管理運転 点検含)	運転時 点検	臨時 点検	
球磨川	弥次排水樋管	1k390	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	植柳排水樋管	2k180	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	中川原排水樋管	2k860	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	植柳第二排水樋管	3k550	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	麦島排水樋管	4k000	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	豊原排水樋管	6k240	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	小川第一排水樋管	10k920	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	小川第二排水樋管	11k050	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	小川第三排水樋管	11k093	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	段排水樋管	11k612	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	横石第一排水樋管	11k856	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	横石第二排水樋管	12k055	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	横石第三排水樋管	12k240	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	合志野第一排水樋管	17k185	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	合志野第二排水樋管	17k700	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	合志野第三排水樋管	18k020	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	藤本排水樋管	18k125	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	大門排水樋管	18k498	右岸		○		○	フローティングゲート
球磨川	荒瀬上流排水樋管	19k390	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	西鎌瀬排水樋管	24k870	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	舟戸排水樋管	52k625	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	渡第二排水樋管	52k965	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	渡第三排水樋管	53k290	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	今村第一排水樋管	53k400	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	今村第二排水樋管	53k700	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	地下第二排水樋管	54k380	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	地下排水樋管	54k940	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	大柿排水樋管	55k070	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	山口排水樋管	55k345	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	八久保排水樋管	56k340	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	釜場排水樋管	57k350	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	小柿第一排水樋管	57k548	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	小柿第二排水樋管	57k833	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	出水川排水樋管	57k915	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	福川排水樋管	58k290	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	戸越第一排水樋管	58k559	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	下薩摩瀬排水樋管	58k940	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	薩摩瀬排水樋管	59k120	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	上薩摩瀬排水樋管	59k310	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	戸越第二排水樋管	59k337	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	相良第一排水樋管	59k655	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	相良第二排水樋管	60k000	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	矢黒第二排水樋管	60k025	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ

付表22 機械設備の点検

付表22-1 ゲート②

河川名	施設名	位置		点検区分				備考
		距離標	左右岸	月点検	年点検 (管理運転 点検含)	運転時 点検	臨時 点検	
球磨川	相良排水樋管	60k220	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	矢黒排水樋管	60k415	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	下青井排水樋管	60k754	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	上青井排水樋管	61k009	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	老神排水樋管	61k180	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	下新町排水樋管	62k325	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	上新町排水樋管	62k610	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	川村第四排水樋管	63k765	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	川村第二排水樋管	65k440	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	川村第三排水樋管	65k675	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	川村排水樋管	66k050	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	柳詰排水樋管	66k880	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	西村排水樋管	68k410	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	十日市排水樋管	69k190	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	平岩排水樋管	69k875	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	平良排水樋管	72k280	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	木上排水樋管	72k425	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	平野排水樋管	72k850	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	梅木排水樋管	73k375	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	風呂ノ前排水樋管	73k817	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	六川排水樋管	74k450	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	下津留排水樋管	75k175	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	古町排水樋管	75k390	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	下里排水樋管	75k600	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	向町排水樋管	76k085	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	深田第一排水樋管	76k100	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	深田排水樋管	76k375	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	荒金排水樋管	76k580	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	富田第二排水樋管	76k960	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	富田排水樋管	77k160	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	井ノ口排水樋管	77k620	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	庄屋第二排水樋管	77k835	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	庄屋第一排水樋管	78k010	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	庄屋第三排水樋管	78k260	左岸		○		○	フラップゲート
球磨川	伊賀川排水樋管	79k040	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	中島排水樋管	79k320	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	中島第一排水樋管	80k200	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	牛島第二排水樋管	80k615	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	中島第二排水樋管	80k620	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	牛島第一排水樋管	81k205	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	中島第三排水樋管	81k700	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	牛島排水樋管	82k080	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
球磨川	下鶴排水樋管	82k539	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ

付表22 機械設備の点検

付表22-1 ゲート③

河川名	施設名	位置		点検区分				備考
		距離標	左右岸	月点検	年点検 (管理運転 点検含)	運転時 点検	臨時 点検	
球磨川	黒肥地第四排水樋管	83k340	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	黒肥地第三排水樋管	84k620	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	黒肥地第二排水樋管	85k330	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	西園排水樋管	88k850	右岸		○		○	フラップゲート
前川	新開町第一排水樋管	0k654	右岸		○		○	フラップゲート
前川	新開町第二排水樋管	0k822	右岸		○		○	フラップゲート
前川	新開町第三排水樋管	0k966	右岸		○		○	フラップゲート
前川	新開町排水樋管	1k240	右岸		○		○	フラップゲート
前川	中北第一排水樋管	1k310	左岸		○		○	フラップゲート
前川	中北第二排水樋管	2k120	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
前川	古城排水樋管	2k570	左岸		○		○	フラップゲート
前川	本町排水樋管	3k320	右岸		○		○	フラップゲート
前川	前川排水樋管	3k380	左岸		○		○	フラップゲート
前川	迎町排水樋管	4k450	左岸		○		○	フラップゲート
前川	野上排水樋管	6k350	右岸		○		○	フラップゲート
南川	南川排水樋管	1k840	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
南川	葭牟田排水樋管	2k075	左岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
川辺川	西村第二排水樋管	0k115	右岸	○	○	○	○	月点検は操作従事者目視のみ
川辺川	八田排水樋管	0k545	右岸		○		○	フラップゲート
川辺川	新村排水樋管	1k090	右岸		○		○	フラップゲート
川辺川	原園排水樋管	1k875	右岸		○		○	フラップゲート
球磨川	球磨川堰	6k000		○	○		○	
前川	新前川堰	4k880		○	○		○	

付表22-2 排水機場(ポンプ)設備

河川名	施設名	位置		点検区分				備考
		距離標	左右岸	月点検	年点検 (管理運転 点検含)	運転時 点検	臨時 点検	
球磨川	九日町排水機場	61k330	右岸	○	○	○	○	

付表23 樋管等構造物周辺堤防の詳細点検

河川名	施設名※ ¹	位置		点検実施状況					備考
		距離標	左右岸	概略点検	一次点検		二次点検		
					周辺	直下	周辺	直下	
球磨川	弥次	1k390	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	植柳	2k180	左岸	●	○	○	—	—	
球磨川	中川原	2k860	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	植柳第二	3k550	左岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	麦島	4k000	右岸	●	○	○	—	—	
球磨川	豊原	6k240	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	小川第一	10k920	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	今泉	11k013	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	小川第二	11k050	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	小川第三	11k093	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	段	11k612	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	横石第一	11k856	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	横石第二	12k055	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	横石第三	12k240	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	合志野第一	17k185	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	合志野第二	17k700	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	合志野第三	18k020	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	藤本	18k125	右岸	—	—	—	—	—	
球磨川	大門	18k498	右岸	—	—	—	—	—	
球磨川	荒瀬上流	19k390	左岸	—	—	—	—	—	
球磨川	西鎌瀬	24k870	左岸	—	—	—	—	—	
球磨川	神瀬	36k900	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	舟戸	52k625	右岸	●	●	●	●	●	今後調査予定
球磨川	渡第二	52k965	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	渡第三	53k290	右岸	●	●	○	○	—	
球磨川	今村第一	53k400	右岸	●	●	○	○	—	
球磨川	今村第二	53k700	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	地下第二	54k380	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	地下	54k940	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	大柿	55k070	左岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	山口	55k345	右岸	●	●	●	●	●	今後調査予定
球磨川	八久保	56k340	右岸	●	●	●	●	○	今後調査予定
球磨川	釜場	57k350	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	小柿第一	57k548	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	小柿第二	57k833	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	出水川	57k915	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	頭無川	58k190	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	福川	58k290	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	戸越第一	58k559	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	下薩摩瀬	58k940	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	薩摩瀬	59k120	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	上薩摩瀬	59k310	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	戸越第二	59k337	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	相良第一	59k655	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	相良第二	60k000	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	矢黒第二	60k025	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	相良	60k220	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	矢黒	60k415	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	下青井	60k754	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	上青井	61k009	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	老神	61k180	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	九日町	61k330	右岸	●	●	●	●	●	今後調査予定
球磨川	下新町	62k325	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	上新町	62k610	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	川村第四	63k765	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	川村第二	65k440	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	川村第三	65k675	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	川村	66k050	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
球磨川	柳詰	66k880	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	西村	68k410	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	十日市	69k190	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	平岩	69k875	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	平良	72k280	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	木上	72k425	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	平野	72k850	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	梅木	73k375	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	風呂ノ前	73k817	左岸	○	—	—	—	—	

付表23 樋管等構造物周辺堤防の詳細点検

河川名	施設名※ ¹	位置		点検実施状況					備考
		距離標	左右岸	概略点検	一次点検		二次点検		
					周辺	直下	周辺	直下	
球磨川	六川	74k450	左岸	●	○	○	—	—	
球磨川	下津留	75k175	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	古町	75k390	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	下里	75k600	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	深田第一	76k100	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	向町	76k085	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	深田	76k375	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	荒金	76k580	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	富田第二	76k960	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	富田	77k160	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	井ノ口	77k620	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	庄屋第二	77k835	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	庄屋第一	78k010	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	庄屋第三	78k260	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	伊賀川	79k040	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	中島	79k320	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	中島第一	80k200	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	牛島第二	80k615	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	中島第二	80k620	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	牛島第一	81k205	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	中島第三	81k700	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	牛島	82k080	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	下鶴	82k539	左岸	○	—	—	—	—	
球磨川	黒肥地第四	83k340	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	黒肥地第三	84k620	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	黒肥地第二	85k330	右岸	○	—	—	—	—	
球磨川	西園	88k850	右岸	○	—	—	—	—	
前川	新開町第一	0k654	右岸	—	—	—	—	—	
前川	新開町第二	0k822	右岸	—	—	—	—	—	
前川	新開町第三	0k966	右岸	—	—	—	—	—	
前川	新開町	1k240	右岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
前川	中北第一	1k310	左岸	○	—	—	—	—	
前川	中北第二	2k120	左岸	●	●	●	●	●	今後調査予定
前川	蛇竈	2k400	右岸	○	—	—	—	—	
前川	古城	2k570	左岸	○	—	—	—	—	
前川	本町	3k320	右岸	○	—	—	—	—	
前川	前川	3k380	左岸	●	●	●	○	○	
前川	迎町	4k450	左岸	●	●	○	●	—	今後調査予定
前川	野上	6k350	右岸	○	—	—	—	—	
南川	南川	1k840	右岸	○	—	—	—	—	
南川	葭牟田	2k075	左岸	○	—	—	—	—	
川辺川	西村第二	0k115	右岸	○	—	—	—	—	
川辺川	八田	0k545	右岸	○	—	—	—	—	
川辺川	新村	1k090	右岸	○	—	—	—	—	
川辺川	原園	1k875	右岸	○	—	—	—	—	

○：異常なし

●：異常あり

※1 「～排水樋管」は省略

付表24 許可工作物

付表24-1 橋梁①

河川名	橋梁名	橋 長	施設管理者	備考
球磨川	金剛橋	314.50m	熊本県	
球磨川	金剛橋歩道橋	317.75m	熊本県	
球磨川	植柳橋	293.80m	熊本県	
球磨川	植柳橋側道橋	297.30m	熊本県	
球磨川	夕葉橋	252.40m	国土交通省	
球磨川	新萩原橋	657.30m	熊本県	
球磨川	球磨川橋梁	528.40m	肥薩おれんじ鉄道株式会社	
球磨川	南九州自動車道 球磨川橋	484.00m	西日本高速道路株式会社	
球磨川	九州新幹線 球磨川橋梁	307.00m	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	
球磨川	西部大橋	205.00m	八代市	
球磨川	九州自動車道 球磨川第一橋	390.00m	西日本高速道路株式会社	
球磨川	深水橋	154.80m	熊本県	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	九州自動車道 球磨川第二橋	244.00m	西日本高速道路株式会社	
球磨川	中谷橋	149.00m	八代市	
球磨川	坂本橋	121.10m	熊本県	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	葉木橋	204.00m	八代市	
球磨川	百済来橋	80.50m	熊本県	
球磨川	JR 球磨川第一橋梁	205.28m	九州旅客鉄道株式会社 熊本鉄道事業部	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	鎌瀬橋	113.20m	熊本県	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	神瀬橋	111.95m	熊本県	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	大野大橋	139.60m	熊本県	
球磨川	大瀬橋	100.00m	球磨村	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	吊橋(一般歩道橋)	130m	球磨村森林組合	
球磨川	松本橋(村道橋)	90.00m	球磨村	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	球磨橋	120.39m	熊本県	
球磨川	JR 球磨川第二橋(鉄橋)	179.69m	九州旅客鉄道株式会社 熊本鉄道事業部	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	相良橋	136.76m	熊本県	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	沖鶴橋	179.40m	球磨村	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	天狗橋	180.00m	人吉市	R2.7豪雨にて一部落橋
球磨川	紅取橋	223.10m	人吉市	
球磨川	西瀬橋	175.065m	熊本県	R2.7豪雨にて一部落橋 R5.2 新橋架替完成
球磨川	西瀬橋側道橋	173.130m	熊本県	
球磨川	織月大橋	202.00m	熊本県	
球磨川	人吉橋	223.80m	人吉市	
球磨川	人吉大橋	115.60m	人吉市	
球磨川	水の手橋	219.76m	人吉市	
球磨川	JR 第三球磨川橋梁	195.150m	九州旅客鉄道株式会社 熊本鉄道事業部	

付表24-1 橋梁②

河川名	橋梁名	橋 長	施設管理者	備考
球磨川	曙橋	174.00m	人吉市	
球磨川	九州自動車道 球磨川第三橋	256.35m	西日本高速道路株式会社	
球磨川	球磨川第4橋梁	228.902m	くま川鉄道株式会社	R2.7豪雨にて落橋
球磨川	木綿葉大橋	281.40m	錦町	
球磨川	錦大橋	265.50m	錦町	
球磨川	野間川橋	60.00m	錦町	
球磨川	球磨大橋	340.70m	熊本県	
球磨川	横馬場橋及び歩道橋	12.70m	熊本県	
球磨川	木上大橋	192.50m	錦町	
球磨川	古町橋	172.00m	あさぎり町	
球磨川	明廿橋	182.60m	熊本県	
球磨川	庄屋橋	143.30m	あさぎり町	
球磨川	井口川橋	45.00m	あさぎり町	
球磨川	川瀬橋	158.00m	熊本県	
球磨川	中島橋	168.00m	あさぎり町	
球磨川	天子橋	114.720m	多良木町	
球磨川	里の城大橋	186.00m	多良木町	
球磨川	里城橋	156.210m	多良木町	
球磨川	王宮橋	143.80m	熊本県	
球磨川	中鶴橋	116.550m	熊本県	
球磨川	蓮花寺橋	116.800m	多良木町	
球磨川	大王橋	115.725m	多良木町	
球磨川	百太郎橋	116.00m	多良木町	
球磨川	古淵橋	94.000m	湯前町	
球磨川	鵜木橋	70.000m	熊本県	
球磨川	佐本橋	81.00m	熊本県	
球磨川	原の淵橋	106.00m	水上村	
川辺川	権現橋	190.00m	相良村	
川辺川	新村橋・吊橋	120.00m	相良村	R2.7豪雨にて落橋
前川	八代大橋	547.48m	熊本県	
前川	新前川橋	219.80m	熊本県	
前川	前川橋(旧)	231.30m	八代市	
前川	白鷺橋	250.00m	国土交通省	
南川	南川橋	222.00m	熊本県	
南川	南川大橋	194.00m	八代市	
南川	八の字橋	68.00m	八代市	

付表24－2 堰等

河川名	施設名	位置 距離標	堰長 (m)	ゲート天端高 (T.P.m)	施設管理者	備考
球磨川	遙拝堰	左・右岸 9k060地先	261.0	8.80	農林水産省九州農政局	
球磨川	石坂堰	左・右岸 78k320地先	160.55	139.65	錦町土地改良区	
球磨川	鮎之瀬堰	左・右岸 85k240地先	120.0	161.18	鮎之瀬溝土地改良区	
球磨川	百太郎堰	左・右岸 86k520地先	156.5	167.80	百太郎溝土地改良区	
南川	南川伏越	左・右岸 2k800地先	44.0	2.5	八の字堰土地改良区連合	

付表24-3 ダム

河川名	施設名	位置 距離標(km)	施設の形式・規模等 (長さ、高さ、径間長等)	施設管理者	備考
球磨川	瀬戸石ダム	左・右岸 28k860地先	重力式コンクリートダム・堰長 139.35m、可動部87.50m (鋼製ローゲート15.00× 14.30×5門、6.25×10.00 ×2門、鋼製水門スルースケ ート6.65×5.85×2門)、固定 部51.85m、総貯水容量 9,930,000m ³)	電源開発 株式会社	

付表24－4 揚排水機場

河川名	施設名	位置 距離標(km)	施設の形式・規模等 (長さ、高さ、径間長等)	施設管理者	備考
球磨川	頭無川雨水ポンプ場	右岸 58k2地先	半二床式固定翼立軸斜流ポンプ2台(集水面積28.43ha、排水量4.333m ³ /s)	人吉市	
球磨川	宝来雨水ポンプ場	右岸 60k5地先	立軸斜流ポンプ2台(集水面積11.13ha、排水量2.083m ³ /s)	人吉市	
前川	中央雨水ポンプ場	右岸 1k4地先	一床式立軸斜流ポンプ2台、横軸斜流ポンプ3台(集水面積204.03ha、排水量13.682m ³ /s)	八代市	
前川	麦島ポンプ場	左岸 1k09地先	立軸斜流ポンプ4台(集水面積160ha、排水量13.5m ³ /s)	八代市	
前川	徳淵ポンプ場	右岸 3k0地先	立軸二床式斜流ポンプ1台(集水面積0.02ha、排水量0.7m ³ /s)	八代市	
前川	野上ポンプ場	右岸 3k7地先	横軸軸流ポンプ2台(集水面積0.68ha、排水量3.3m ³ /s)	八代市	

付表24-5 樋門・樋管等

河川名	施設名	位置		樋管断面 H×B×連数	施設管理者	備考
		距離標(km)	左右岸			
前川	野上排水樋管	3k700	右岸	2.25 m × 2.25 m × 1 連	八代市	
球磨川	金剛・麦島用水路 樋管	5k970	右岸	2.80 m × 1.75 m × 1 連	八の字堰土地 改良区連合	
球磨川	古麓第一排水樋管	8k275	右岸	φ 1.50 m × 1 連	八代平野北部 土地改良区	
球磨川	渡町排水樋管	8k400	左岸	1.25 m × 1.50 m × 1 連	熊本県	
球磨川	古麓第三排水樋管	8k450	右岸	φ 0.60 m × 1 連	熊本県	
球磨川	豊原用水樋管	8k800	左岸	2.50 m × 1.75 m × 1 連	農林水産省九 州農政局	
球磨川	高田地区排水樋管	8k830	左岸	1.75 m × 2.00 m × 1 連	八代市	
球磨川	北岸取水口樋門	8k960	右岸	2.1 m × 4.00 m × 3 連	八代平野北部 土地改良区	
球磨川	南岸取水口樋門	9k000	左岸	1.4 m × 2.50 m × 2 連	八代平野南部 土地改良区	
球磨川	古田第一排水樋管	9k500	右岸	1.750 m × 2.55 m × 1 連	熊本県	
球磨川	古田第二排水樋管	9k650	右岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	熊本県	
球磨川	古田第三排水樋管	9k750	右岸	φ 1.00 m × 1 連	熊本県	
球磨川	内谷第二発電所放 水路	13k000	右岸	3.10 m × 3.50 m × 1 連	JNC株式会社	
球磨川	砂利洗浄用水樋管	55k350	右岸	φ 0.125 m × 1 連	株式会社金橋 商会	
球磨川	人吉市浄水苑終末 処理場放流樋管	57k380	右岸	1.50 m × 1.50 m × 1 連	人吉市	
球磨川	頭無川排水樋管	58k200	右岸	2.25 m × 2.25 m × 1 連	人吉市	
球磨川	宝来町排水樋管	60k530	右岸	2.00 m × 2.00 m × 1 連	八代市	
球磨川	石坂堰古川排水樋 管	71k340	右岸	1.75 m × 1.75 m × 2 連	錦町土地改良 区	
球磨川	植深田排水樋管	75k950	右岸	2.00 m × 2.25 m × 2 連	錦町土地改良 区	
球磨川	石坂堰取水口樋門	78k300	右岸	1.30 m × 1.30 m × 1 連	錦町土地改良 区	
球磨川	牛島排水樋管	81k440	左岸	2.50 m × 2.25 m × 1 連	多良木町	
球磨川	才和田揚水機場取 水口樋管	81k540	右岸	1.00 m × 1.00 m × 1 連	才和田堰水利 組合	
球磨川	鮎之瀬堰用水樋管	85k200	右岸	1.60 m × 1.50 m × 1 連	鮎之瀬溝土地 改良区	
前川	中央ポンプ場排水 樋門	1k400	右岸	3.60 m × 2.70 m × 2 連	八代市	
前川	蛇籠排水樋管	2k400	右岸	1.75 m × 1.75 m × 1 連	八代市	
前川	徳淵排水樋管	3k000	右岸	1.10 m × 1.10 m × 1 連	八代市	
前川	麦島ポンプ場排水 樋管	1k090	左岸	1.00 m × 1.25 m × 1 連	八代市	
前川	排水管	1k600	右岸	φ 0.09 m × 1 連	メルシャン株式 会社	
南川	北原排水樋管	0k300	左岸	2.60 m × 2.70 m × 1 連	八の字土地改 良区	

付表25 河川清掃活動

活動団体	活動内容	実施場所	実施頻度	備考
次世代のためにがんばろ会	河川清掃	八代市	年1回	八代海 河川・浜辺の大掃除大会
	河川清掃	八代市	年1回	子どもごみパトロール隊
NPO法人 球磨川アドベンチャーズやつしろ	河川清掃	八代市	年数回	イベント時
球磨川ツクシイバラの会	河川清掃 (除草)	球磨郡錦町	年数回	ツクシイバラの開花時期
球磨川Safety Kid's Labo.	河川清掃	川辺川	年1回	川辺川リバーミーティング
熊本県 流域各市町村 賛同企業、地域住民 等	河川清掃	球磨川流域全体	年1回	くまもと・みんなの川と海づくりデー